

学報

NARA MEDICAL UNIVERSITY

vol. **77** 2021
夏号

Special Feature

理事長・学長からの
メッセージ vol.20

春日大社から
かわいい絵馬をいただきました



Contents

特集	理事長・学長からのメッセージ vol.20	3
	令和2年度 公立大学法人奈良県立医科大学決算	4
	MBT 研究所だより (第21報)	5
	図書館だより	6
	未来への飛躍基金だより	7
	国際交流センターだより vol.4	8
	先端医学研究支援機構だより	9
	働き方改革だより	10
	看護部の紹介	11
	患者状態適応型パスシステム (PCAPS) を利用した看護師の働き方改革	12
Campus News	MBT コロナ克服キャンペーン冊子が完成しました	12
	大学発ベンチャー立上げ支援について議論しました	12
	ICT 見守り・健康増進に係る MBT セミナーを開催しました	13
	近鉄健康フェスタで健康セミナーを開催しました	13
	MBT 難病克服キャンペーンについて討議しました	13
	V-iCliniX 講座運営委員会を開催しました	13
	MBT 特命教授の特別講義を開催しました	14
	けいはんなリサーチコンプレックスと共同でオンラインセミナーを開催しました	14
	MBT ウエルシア薬局健康ステーションを開催しました	15
	春日大社からかわいい絵馬を寄贈いただきました	15
	大学院看護学研究科のオープンキャンパス 2021 を Web 開催しました	16
	横断的共同研究助成事業及び若手研究者研究助成事業が採択されました	16
	MBT が主導する産学連携について討議しました	17
	MBT 微生物学研究所株式会社を奈良医大発ベンチャー企業に認定しました	17
	公的研究費の適正使用に係る研修会を開催しました	17
	ご家族が東京オリンピック男子ホッケー日本代表に選ばれました	17
Winner Report	第79回日本公衆衛生学会にて奨励賞を受賞しました	18
	若手日本研究皮膚科学会賞 (若手 JSID 賞) を受賞しました	18
	第39回 Cytoprotection において研究会奨励賞を受賞しました	18
	2020年度内藤記念科学奨励金・研究助成を受賞しました	18
	第126回日本解剖学会総会・全国学術集会の学生セッションで優秀賞を受賞しました	19
	MSD社のCRC Award 2020を受賞しました	19
	日本医学放射線学会総会において Japanese Journal of Radiology 優秀論文賞を受賞しました	19
	高木賞を受賞しました	19
	World Scientists Forum International Awardを受賞しました	20
	第50回日本IVR学会総会にて Featured Abstract Award として優秀演題賞を受賞しました	20
	国際ソロプチミスト奈良一あすか大学院女子学生奨学金クラブ賞を受賞しました	20
	第5回日本血栓止血学会岡本 Shousuke Award を受賞いたしました	20
	第43回日本血栓止血学会において第26回日本血栓止血学会学術奨励賞を受賞しました	21
	第19回アジアオセアニア筋学会で優秀ポスター賞を受賞しました	21
	令和3年度文部科学省科学研究費助成事業の決定	21
Information	大学院入試日程	26
	公開講座情報	27
寄附者ご芳名	「未来への飛躍基金」にご協力いただきありがとうございました	27
	編集後記	27
	メディア掲載情報	28

特別な医科大学になるための3つの達成目標

理事長・学長 細井 裕司

他の医科大学・医学部との差別化を図り、存在感のある特別な医科大学になるために以下の三つの医療者養成に関する達成目標を掲げたいと思います。

1. 真の実力を備えた医療者を生涯にわたって育てます。

真の実力を備えている医療者とは、卓越した知識と技術だけでなく、「良き医療人」ということばで表現される医師・看護師としての能力を持った医療者を指します。

各教室の熱心な指導と今年度設立した医療人育成機構を通じて、法人全職員ならびにOB、OGに対して、豊かな人間性を重視した「良き医療人」の生涯に渡るシームレスな一体的育成を目指します。

2.アントレプレナーシップを持った医療者を生涯にわたって育てます。

アントレプレナーシップ（“entrepreneurship”「起業家精神」）とは、「新しい事業分野を切り開くために必要な、想像力や発想力、行動力、チャレンジ精神、リスクを恐れない勇敢さ」を意味しています。この精神は、医師や看護師の生涯にとっても重要な要素だと思っています。

学生時代からアントレプレナーシップが涵養される環境整備を行います。年初からベンチャー企業の立ち上げをお願いしましたところ、幾人かの先生と資金計画を含めた話し合いをMBT コンソーシアム事務局と持つことができました。そして、7月1日には奈良医大発ベンチャー企業1社が立ち上がりました。総合大学に比し、医科の単科大学においては、このような取り組みはあまり行われていませんが、この精神は医師・看護師にも大切だと思っています。「挑戦する人」の一生は豊かなものになると信じています。MBT 特命教授の講演や、MBT コンソーシアムによる起業支援を通じて、奈良医大でも東大や京大のようなアントレプレナーシップを育てたいと思います。

3. 国際性豊かな医療者を生涯にわたって育てます。

国際性豊かな医療者とは、日本だけでなく海外の状況や海外の人も含めた他者の状況が理解でき、人間関係を含めて適切な行動が取れる医療者を指します。今後、多くの方が海外から日本に来られることが予想され、また奈良医大の医師や看護師が海外に行って、その文化に触れることによって自己を磨く機会が増加すると考えられます。

国際性豊かな医療者を育てるためには、英語力の向上が必須です。医学教育を英語で行う試みを進めたいと思います。その皮切りに、ミシガン大学の協力を得て、本年9月10日午前9時から英語による免疫学の講義を行います。（講師の先生には時差の関係で、アナーバー時間、前日の午後8時に講義を行っていただくこととなります。）未来への飛躍基金を用いた海外留学制度のより一層の充実も図りたいと考えています。

令和2年度 公立大学法人奈良県立医科大学決算

令和2年度決算 収益 / 542億7,450万円 (+22億7,959万円) 費用 / 533億4,659万円 (+5億4,972万円)

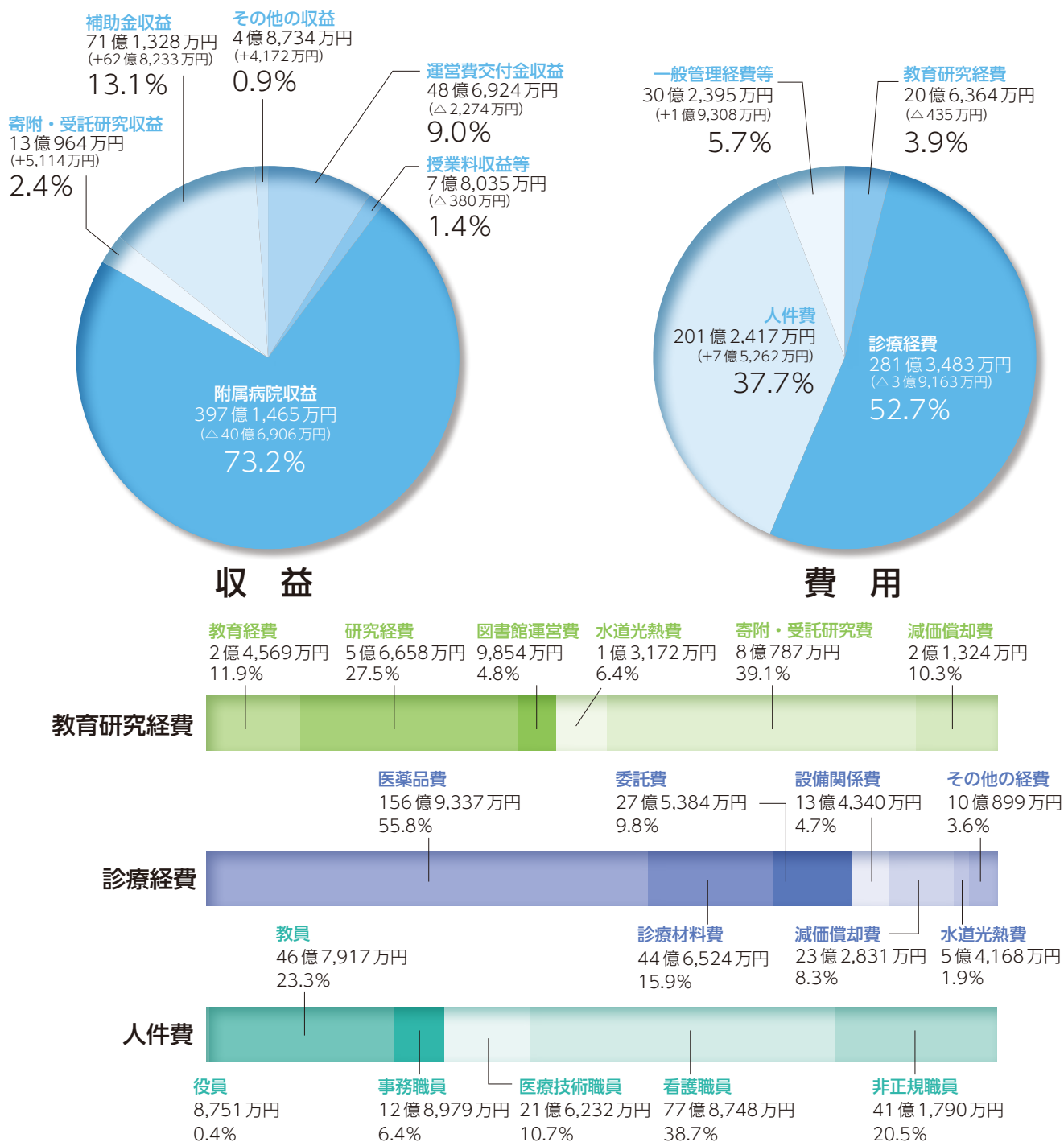
差引 9億2,791万円の黒字(R1 8億196万円の赤字)

※ () 内は前年との増減額

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症患者の受入に伴う患者抑制の影響により、入院手技収入及びそれに伴う診療経費が減少しましたが、一方で病床確保に対する支援金等の新型コロナウイルス感染症に関連する補助金収益の増加などにより、昨年度の8.0億円の赤字から9.2億円の黒字となりました。

今年度も新型コロナウイルス感染症への対応が求められる中、附属病院収益の減少や電子カルテシステムの償却、キャンパス移転に係る施設整備費の増加等により、経営状況が見通しにくくなるが見込まれます。

皆さまには引き続き経費節減など経営改善に向けた取り組みへのご協力をよろしくお願いいたします。



令和2年度は、一般財団法人弘済会から、2,000万円の助成を受け、B棟特別室やスタッフステーションの改修工事などを行いました。

1. MBT 難病克服キャンペーン

MBT 研究所と MBT コンソーシアムは、難病克服を通じた社会貢献を新たに開始し、その一環として「MBT 難病克服キャンペーン」と銘打った取り組みを始めました。この場合の難病とは難病の患者に対する医療等に関する法律に基づき指定された疾病であり、現在 333 の疾病が指定されております。

具体的には協賛企業を募り、「難病克服キャンペーン協賛商品」を決めていただき、「MBT 協賛商品ロゴマーク」を付与します。「協賛商品」売上の 0.1% を財源とし、難病に苦しむ患者救済に向けた全国活動を行う NPO 団体等に寄付します。

協賛企業に関しては MBT コンソーシアムのあらゆる広告の機会に、「難病克服に取り組む社会貢献企業」として紹介することとしております。奈良医大の先生方が関与されている難病があれば、関連情報を MBT コンソーシアム事務局までお知らせください。

2. MBT コロナ克服キャンペーン

(1) MBT コロナ克服キャンペーンで行ってきた感染対策指導、勉強会、ガイドライン作成、感染対策情報の発信及び MBT コロナ克服キャンペーンで指導した感染対策を取り入れたイベントの開催などの記録をまとめた全 36 頁の冊子を作成し、奈良医大及び MBT コンソーシアム関係者に配布するとともに、ホームページ (<http://mbt.or.jp/news/1908/>) にアップしました。これらの取り組みの記録は、現在の危機対応に役立つだけでなく、後世に伝える価値があると考えております。

(2) 昨年 9 月、長年柿タンニン (柿渋) の研究を行ってきた免疫学講座伊藤利洋教授は柿タンニンに新型コロナウイルス不活化の効果があることを世界ではじめて発表しました。この成果を実用化すべく食品企業と共同開発に取り組み商品化を進めてきたところ、UHA 味覚糖 (株)、カバヤ食品 (株)、カンロ (株)、春日井製菓 (株) が開発に成功し、製品として一般に販売しているところです。

3. MBT マンスリー補助金情報サービス

5 月より、「MBT マンスリー補助金情報サービス」のメール配信をはじめました。教員の皆様から、自分の課題とマッチする補助金等にどのようなものがあるか分からないとの声があったため、MBT 研究所が教員・学生の皆様に、研究に役立つ補助金、賞に関する情報をお伝えするものです。

4. MBT コンソーシアム・けいはんな RC ジョイントセミナー

6 月 10 日、けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会 (会長 細井裕司) と MBT コンソーシアムは、「グローバル産業創生に向けて～ MBT・けいはんなの医工連携～」と題したジョイントセミナー (兼：MBT コンソーシアム第 8 回会員会議) をオンラインで開催し、160 名が参加しました。

けいはんなは文部科学省・JST が支援する「リサーチコンプレックス推進プログラム」の実施拠点として、2016 年 10 月から 2020 年 3 月まで「イノベーションエコシステム」の構築に取り組んできました。2020 年 6 月、「けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会」が発足し、これまでの成果を継承・発展させ、イノベーション創出複合基盤構築を引き続き推進しています。けいはんなリサーチコンプレックス推進協議会及び MBT コンソーシアムは、産官学金連携による新産業創出や人材育成・インフラづくりなどをめざすという共通の目的に向け、互いの強みを相互に補完しあう連携を強化していくこととしました。本セミナーでは、医学をベースにしたまちづくりを推進する MBT コンソーシアムとけいはんな RC の活動を紹介するとともに、医工連携によるこのエコシステムが新たなイノベーションを生み出す機会となることについて、討議がなされました。



パネルディスカッションの様様

検索マスターへの道 (第16回)

ある疑問に対し、医学情報データベースでどのように検索するのかを解説するシリーズです。今回は、6月の看護院生向け系統的レビュー講義で使用した検索テーマを用います。検索日は2021年6月11日、使用データベースはPubMedとCINAHLです。

【テーマ1】妊婦は新型コロナワクチンを接種してよいか。

まず、検索テーマをPICOに当てはめて考えます。PICOについては学報68号で説明していますので、そちらをお読みください。P:妊婦、I:新型コロナワクチン接種として、検索式を立てます。

PubMed

#1	covid-19	143809
#2	Pregnancy [mh] OR Pregnant Women [mh] OR pregnan* [ti]	950733
#3	Immunization [mh] OR immunizat* [ti] OR vaccin* [ti]	296007
#4	#1 AND #2 AND #3	118

#1は新型コロナの集合です。PubMedの自動マッピング機能により、covid-19と検索するとMeSHなどが自動的に付与され検索されます。

(#1の検索式詳細)

"covid 19" [ALL] OR "covid 19" [MH] OR "covid 19 vaccines" [ALL] OR "covid 19 vaccines" [MH] OR "covid 19 serotherapy" [ALL] OR "covid 19 serotherapy" [NM] OR "covid 19 nucleic acid testing" [ALL] OR "covid 19 nucleic acid testing" [MH] OR "covid 19 serological testing" [ALL] OR "covid 19 serological testing" [MH] OR "covid 19 testing" [ALL] OR "covid 19 testing" [MH] OR "sars cov 2" [ALL] OR "sars cov 2" [MH] OR "severe acute respiratory syndrome coronavirus 2" [ALL] OR "ncov" [ALL] OR "2019 ncov" [ALL] OR ("coronavirus" [MH] OR "coronavirus" [ALL] OR "cov" [ALL]) AND 2019/11/01:3000/12/31 [DP]

#2では、妊婦の集合、#3はワクチン接種の集合を作りました。それぞれMeSHと自然語をORで組み合わせています。自然語をある程度絞り込むために [ti] をつけ、タイトルのフィールドに限定しました。#1から#3をANDで組み合わせて118件になりました。

CINAHL

S1	TX (COV OR COVID OR NCOV OR corona*) N3 (19 OR 2019 OR sars OR 2)	33591
S2	TX (covid-19 OR 2019-ncov OR sars-cov-2 OR cov-19)	58968
S3	S1 OR S2	71590
S4	MH Pregnancy+ OR MH "Expectant Mothers" OR (TI (pregnan* or gestation*))	244125
S5	MH Immunization OR (TI (immunizat* or vaccin*))	51113
S6	S3 AND S4 AND S5	49

PubMedと同様の検索をします。CINAHLには自動マッピングの機能はないため、新型コロナの自然語をなるべく多く検索できるようにします。TXは全てのフィールドから検索するという指定です。S1のN3は近接演算で3語以内にそれぞれの単語を含むという指定です。同じような検索でも、ANDを使うとタイトルとアブストラクト中に別々に含まれているものも入ってしまいますが、3語以内という指定をするとそのようなものは省かれ、より精度の高い検索ができます。近接演算を使えることはCINAHLの大きな利点です。S3からS5をANDで組み合わせて45件になりました。

【テーマ2】妊娠高血圧に対して減塩は推奨されるか？

こちらもPICOに当てはめます。P:妊娠高血圧、I:減塩として検索式を立てます。

PubMed

#1	Hypertension, Pregnancy-Induced [mh:noexp]	3658
#2	(pregnan* [tiab] OR gestation* [tiab]) AND hypertensi* [tiab]	28262
#3	#1 OR #2	28679
#4	"Sodium Chloride, Dietary" [mh] OR "Diet, Sodium-Restricted" [mh]	13032
#5	(salt [tiab] OR sodium [tiab]) AND (restrict* [tiab] OR reduc* [tiab] OR low [tiab])	170627
#6	#4 OR #5	177390
#7	#3 AND #6	490
#8	(Animals [mh] NOT Humans [mh]) OR rat [tiab] OR rats [tiab]	5095240
#9	#7 NOT #8	284

#1から#3は妊娠高血圧に関する集合、#4から#6は減塩の集合です。#1では、"Hypertension, Pregnancy-Induced"というMeSHを用いていますが、定義を確認すると、妊娠中に高血圧である状態を指し、妊娠による高血圧と、高血圧の人の妊娠が区別されていません。今回のテーマの妊娠高血圧(妊娠による高血圧)よりも広い意味となりますが、ほかに適当なMeSHがないためこちらを使います。また、そのまま検索すると下位概念のEclampsiaやPre-Eclampsiaが含まれるため、下位概念を含まない検索タグ [mh:noexp] をつけました。#7で減塩と妊娠高血圧の集合を組み合わせ、490件になりました。ここには動物に関する論文も多く含まれるため、MeSHで人間以外の動物が付与されているものを除きます。Animals [mh] NOT Humans [mh] という検索をNOTで文献集合に組み合わせました。また、この場合はラットが出てくる文献が多かったため、自然語でラットも除くようにしました。最終的に284件になりました。

CINAHL

S1	(MH "Pregnancy-Induced Hypertension")	2187
S2	TI ((pregnan* OR gestation*) N3 hypertensi*) OR AB ((pregnan* OR gestation*) N3 hypertensi*)	5461
S3	S1 OR S2	6106
S4	(MH "Diet, Sodium-Restricted") OR (MH "Sodium Chloride, Dietary")	4873

S5	TI ((salt OR sodium) N5 (restrict* OR reduc* OR low*)) OR AB ((salt OR sodium) N5 (restrict* OR reduc* OR low*))	5133
S6	S4 OR S5	8495
S7	S3 AND S6	15
S8	((MH animals+ NOT MH human)) OR TI (rat OR rats) OR AB (rat OR rats)	143602
S9	S7 NOT S8	11

次にCINAHLです。S1からS3は妊娠高血圧に関する集合、S4からS6は減塩の集合です。S2やS5の自然語の集合について、PubMedでは[tiab]というフィールド指定ができますが、CINAHLでは同時に検索する指定ができないため、TIとABでタイトルとアブストラクトのフィールドを別々に指定します。S1の"Pregnancy-Induced Hypertension"について、CINAHL Headingの定義を確認すると、妊娠に

よる高血圧は含むが、高血圧の人の妊娠は含まず、その場合はHypertension in pregnancyを使うように指示があります。今回のテーマでは妊娠による高血圧を検索したいので、"Pregnancy-Induced Hypertension"を使います。S8では、PubMed同様に動物に関する論文を除く検索をしています。最終的に11件となりました。

今回の2例を見比べていただくとわかるように、異なるデータベースで同じ検索をしたいとき、検索式の使いまわしはできません。シソーラスの体系や定義、近接演算の可否、検索コマンドなどが異なるからです。学報67号ではMEDLINEの検索コマンド対照表を掲載していますのでご参照ください。また、PubMed、Ovid MEDLINE、Cochrane Library、CINAHLの検索コマンド対照表を図書館で作成しています。それぞれのデータベースの特性を理解し、検索マスターを目指しましょう！

検索についてのご相談は図書館までお気軽にご連絡ください。ZoomやTeamsでのオンライン相談も受け付けています。

未来への飛躍基金だより

平素より「未来への飛躍」基金に対しご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

今回は、2020年度の寄附の活用状況をご報告させていただきます。2020年度は新型コロナウイルスの影響により、助成予定でした学生の実習がすべて中止となり、元々の予算とは異なる基金の活用をさせていただきました。本学では現在も遠隔授業と対面授業を合わせて行っておりますが、急遽その為の費用や準備が必要になった学生も少なくありません。基金では、学生に対し一律2万円の給付を行い、修学環境の整備に活用できるよう助成させていただきました。

皆様からのご厚志は、人材育成を目的とした修学環境の向上や本学と地域社会とのつながりを強化するための取組に活用させていただきますので、次の通りご報告いたします。

お知らせ

基金事務局では、昨年より認定されました紺綬褒章についてのお問い合わせを多くいただいております。分納にて寄附を賜ることもできますので、ご不明な点がございましたら些細なことでもご連絡ください。

2020年度用途実績内訳 速報版

使用実績	支出額(円)
大学院医学研究科博士課程入学者に対する奨学金を希望者に貸与	7,261,500
未来基礎医学(学生の研究支援を行う講座)の活動費を助成	2,000,000
医学科6年生対象の病院での臨床実習のキャンセルに伴う宿泊費用の援助	91,106
臨床英語での教育活動への助成	2,175,195
クラブ活動に必要な環境整備への助成	181,500
看護学科学生へ実習用白衣及びシューズを授与	1,383,549
医学科生、看護学科生へ国家試験対策模試費用を支援	1,600,420
本学と地域社会との繋がりを強化するための取組である健康長寿イベントへの助成	1,000,000
臨床研究中核病院承認に向けた、トップクラスの医療提供と医療者の確保・育成を目指すための体制整備	35,893,755
新型コロナウイルスの影響に伴う学生への修学環境整備等費用の助成	20,600,000
募金推進事業(印刷費・郵送費・広報費等)	4,045,954
合計	76,232,979

国際交流センターだより vol.4

奈良県立医科大学医学部医学科同窓会 海外留学助成金 厳檀学術奨励賞受賞者決定

令和3年度厳檀学術奨励賞の受賞者は、5名の応募者の中から輸血部の酒井和哉先生に決定しました。酒井先生は2021年6月から2024年3月までの予定で、ベルギーのルーヴェン・カトリック大学に留学されています。

この賞は、母校の発展の一助とするため、海外における学術研究、調査等に従事する者に対し、同窓会がその費用の一部を海外留学助成金として支給しているものです。毎年3月頃に募集案内を配布しています。皆さまの積極的なご応募をお待ちしています。



研究室の皆さんと（右から4番目が酒井診療助教）

厳檀学術奨励賞受賞報告

輸血部 診療助教 酒井 和哉



この度は名誉ある賞を頂戴し光栄に思います。この栄誉は私個人の力ではなく、これまでに自分を指導して育てて頂いた松本雅則教授と、自分を支えてくださった多くの方々のお陰であると実感しております。留学先であるベルギーのルーヴェン・カトリック大学では、これまで従事していた研究テーマである血栓性血小板減少性紫斑病に関する基礎研究を精力的に行い、実臨床に貢献できるような新たな知見を得たいと考えています。

留学報告：マウントサイナイ医科大学（米国）

精神医学 助教 岡村 和哉（留学期間：2020年9月～）

2020年9月より、マウントサイナイ医科大学へ留学させていただいております。本来なら2020年4月からの留学予定でしたが、このCOVID-19パンデミックにより米国領事館が突然閉鎖されるという事態に陥りこの時期になりました。留学先のMorishita研は、発達に伴う脳神経回路の変化を、遺伝子改変マウスやウイルスを用いた神経活動の計測や操作を行うことで明らかにしており、近年多くの有名ジャーナルに掲載されている研究室です。まだ渡米して8か月程ですが、多くの研究結果を得ることができており充実した研究生生活を送ることができています。

渡米直後のニューヨークは3月から始まったロックダウンがようやく明け、人々が街やセントラルパークへ出かけ始め少しずつ日常を取り戻そうとしているところでした。それでもレストラン店内での飲食は禁止され、閉店した店も目立つなど、COVID-19のもたらした被害の大きさを目の当たりにしました。12月からはワクチン接種が始まり、私も2月にPfizer製薬のワクチンを接種しました。ワクチンを契機に徐々に規制も緩和され、2月からは店内での飲食も25%のみ解禁され（6月現在は制限が完全解除）、現在はワクチン接種者の屋外でのマスク着用義務も解除され、米国内からの旅行者が増えるなど、渡米時期より随分と活気が戻ってきているように思われます。日本も現在大変な状況が続いているかと思いますが、ワクチンの普及とともに活気のある生活を取り戻すことを願っています。



Mount Sinai Hospital



Brooklyn Bridge にて

安全保障輸出管理への取り組み vol.3

Zoom等オンラインも対象となります！

安全保障輸出管理とは、日本を含む国際的な平和及び安全の維持を目的として、武器や軍事転用可能な貨物（装置・試料等）及び技術を大量破壊兵器の開発等を行っている国やテロリスト等の手に渡ることを防ぐための管理制度です。

安全保障輸出管理では「貨物の輸出・技術の提供」が対象となり、大学における研究活動も規制の対象となる可能性があります。Zoom等オンラインでの外国人研究者との打合せも「大学における技術の提供の機会」となりますのでご注意ください。

【お問合せ】安全保障輸出管理事務局（国際交流センター）内線 2479

【規程・様式等】学内ホームページ>国際交流センター>安全保障輸出管理

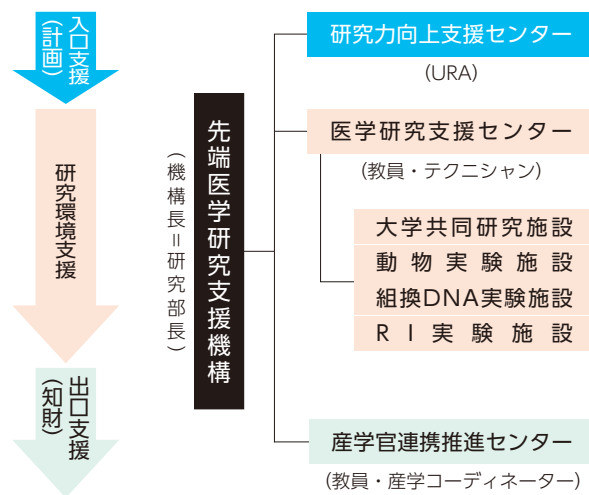
先端医学研究支援機構だより

医学研究支援センターからのお知らせ

本学では、令和2年4月に先端医学研究支援機構を設置し、現在、医学研究支援センターのテクニシャンとして3名が勤務しており、令和3年6月からはセンター長として、栗本先生が就任されました。

同センターでは、本学の研究総合力の一層の向上を図るため、従前の大学共同研究施設の運営や施設利用にあたっての教育研修に加え、今後は施設内機器利用に際しての技術指導や施設内で実施する先端研究のコンサルテーション等の研究環境支援を担うことを目指しています。

現在、動物実験施設・R I 実験施設・組換えDNA実験施設に係る学内手続事務は、医学研究支援センター（基礎医学棟4階 研究推進課の隣（内線：2567））に集約し業務を行っておりますのでお気軽にお問合せください。



ご挨拶

医学研究支援センター長
(発生・再生医学 教授)

栗本 一基



2021年6月から医学研究支援センター長を拝命いたしました。学内の研究者が効率よく実験できる施設になるよう、吉栖機構長以下、総合研究棟の教員、技術職員、研究推進課の方々と協力して、総合研究棟の研究環境を整えていきます。みなさまにもご協力を仰ぐこともあろうかと思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

テクニシャン (専門技術職員)

長谷川 健



昨年の5月より動物実験施設の事務室に勤務させて頂いており、本職は技術職員になります。奈良県立医科大学に来る前の10数年間はサル飼育管理や実験に携わっており、サル以外の動物研究に携わるのは久しぶりです。

テクニシャン (専門技術職員)

白江 倫子



テクニシャンとして働かせていただくことになりました。大学ではDNA損傷と修復に関する研究をしていました。趣味は読書と宝塚、ディズニー、スポーツ観戦です。奈良医大は祖父と大祖父が勤めていたこともあり、身近でした。いろいろとご教授頂きながら、皆様の手助けができればと思っています。よろしくお願いいたします。

テクニシャン (専門技術職員)

アミン ラフィア



テクニシャンとして5月から働かせていただいています。だんだん仕事にも早起きにも慣れてきました。任せていただく仕事も徐々に増えて毎日とても充実しています。趣味はドラマやバラエティ番組を見ること、漫画を読むこと、音楽（聴くこと、歌うこと両方）などです。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願いいたします。

研究力向上支援センターからのお知らせ

University Research Administrator (URA) 垣脇 成光

7月に研究力向上支援センターに着任いたしました。前職では、民生機器関連の技術研究開発、各種デバイスの製造装置・技術の開発、ディスプレイデバイス生産技術管理等、様々な業務に携わって参りました。これまでとは異なった領域での業務となりますが、新たな視点を持ちながら業務に取り組んでいきたいと考えております。企業での経験も活かし、奈良県立医科大学の皆様の研究活動のお役に立てるよう、微力ながら鋭意努力して参る所存です。いろいろな機会でお目にかかることがあろうかと思っております。その節はどうぞよろしくお願いいたします。

本年度は、科研費の公募スケジュールが大幅に見直されました。申請締切には十分ご注意ください。また、申請される研究種目によって締切日が異なりますので、間違えないようご注意ください。

学内応募締切など詳しくは、研究力向上支援センター（内線：2560）までお問合せください。

働き方改革だより

奈良医大では、それぞれの職種で働き方改革につながる取組を進めています。働き方改革だよりでは、各職種での取組の紹介や職員の皆さんにお伝えしたい内容を、今後定期的にお知らせしていきます。

第一回は、吉川病院長のメッセージと、医師の働き方改革についてお伝えします。

奈良医大における働き方改革



変わらしましょう！

病院長 吉川 公彦

働き方改革は、待っているだけで訪れるものではありません。自分たちが、また将来の医療従事者が、やりがいを持っていきいきと勤務できるように、今自らが**変えなければ、変わらなければいけません**。職員の皆さんには、まず「変化していく意識」を持っていただくことから、一緒に始めていきたいと思います。

そして職員が一丸となり、大きなチームとして、職種内・外の連携・サポート体制を構築し、この厳しい転換期を乗り越えていきましょう。

医師の働き方改革プロジェクトより

働き方改革プロジェクトリーダー 庄 雅之

働き方改革プロジェクトは2年目に入りました。昨年度は運営協議会等で年次有給休暇の取得状況の公表を行ってきました。今年度からはシステムでの休暇申請になりました。正確な取得状況把握にご協力ください。

今年度プロジェクトでは、今後対応が必要となる内容を定期的にお伝えするとともに、医大医師の働き方実態調査を進めていきます。今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

より良い職場にして
いきましょう！



医師の働き方改革って？

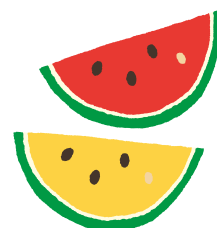
改正医療法が5月に可決され、2024年から医師の勤務時間の上限規制が適用されます。2024年4月から、全ての勤務医の時間外労働規制は、原則年間960時間以下、特例水準として年間1860時間以下までを上限とされるなど、新たな時間外労働の上限規制が適用され、また健康確保措置をはじめとする様々な規制への対応が必要となります。

いま、私たちは「変化」を求められています。本学においても、働き方改革は、「いま（従来の働き方、業務のあり方）」を見直す、よりよい「将来」への転換期です。

TOPICS 「夏を涼しく、リフレッシュ。」

各職員が、心身の疲労を回復させ、健康で充実した生活を送るために各種休暇を取得し、活力ある職場形成を促進させることで、仕事と生活が両立できる働きやすい職場環境の構築を進めています。

10月末までに**特別休暇3日と年次有給休暇7日以上の合計10日以上**を取得することを推奨していますので、計画的な取得をお願いします。



看護部の紹介

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら新人看護職員研修

看護実践・キャリア支援センター 師長 福井 千晶

今年度新人看護職員が98名入職致しました。新人看護職員は昨年、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、実習・演習などの学習環境の変化に対応しながら看護学生として学んできました。

看護部としては新人看護職員が、自信を持って臨床の場に立てるよう充実した研修を企画しています。新人看護職員も、研修企画の看護職員も安心して研修を行えるよう新型コロナウイルス感染予防に様々な対策を講じています。

研修は1回25～30名程度で実施し、会場は定員の半数以下にしています。昨年度は演習を実施できませんでしたが今年度は再開し、「与薬管理」の演習は1グループ8名の3グループに分けて行いました。少人数での研修は新人看護職員との距離も近く指導が行き届きます。また、今年度からサポーターが指導者として研修に参加しており、大きな力となっています。

換気をCO₂チェッカーで確認し、湿度が足りない場合には加湿器を使用するなど、対策をとっています。今後もより安全な教育環境で、当院の看護力の底上げを図り教育の面から支援していきたいと思います。

令和3年度奈良県看護功労者知事表彰を受賞しました



医療安全推進室 森田 公美子

このたびは、看護功労者知事表彰をいただきました。

ありがとうございました。

長年、奈良県立医科大学附属病院で勤務できたのは、皆様のご支援、ご指導のお陰と感謝しております。

今後も微力ながら頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。



B棟5階 仲西 やよい

この度、奈良県看護功労者知事表彰を受賞させていただきました。表彰の話を聞いた時には、自分自身が表彰に値する活躍をしてきたのかと戸惑いもありましたが、看護学校を卒業し約36年、看護の道を元気に働き続けることができたのも、多くの患者様やご家族との出会い、上司や先輩方、同僚や友人の支えのお陰だと感謝しております。これからもこの賞に恥じないように、看護師として日々努力していきたいと思います。



E棟4階 宝来 恵子

看護師になり29年、救急・手術室・成人・母性分野の経験を経て、現在は新生児集中治療部門で新生児ケアを担っています。これまでに出会った数多くの患者様とご家族との関わりを通して命の重みを実感し、かけがえのない命を委ねていただいている職責に緊張の日々を送ってきたように思います。今回このような賞を受賞することができたのは、尊敬する上司や諸先輩方同僚の支えのお陰と感謝しております。今後もなお一層精進し奈良県の医療に貢献していきたいと思います。ありがとうございました。

患者状態適応型パスシステム (PCAPS) を利用した看護師の働き方改革

医療情報部 部長 玉本 哲郎

2019年5月に電子カルテシステムの更新を行いました。更新時の新規対応の1つとして、患者状態適応型パスシステム(PCAPS)を導入しました。このパスシステムは10年以上前に東京大学・水流研究室で開発され、他の病院では個別の疾患ごとに使われていました。当院で導入するにあたり、入院中の全患者適応が可能となるように改良し、全診療科の医師、看護師および診療情報管理士の協力で導入が実現できました。実際に当院では90%以上の患者さんにパス適応可能となっており、パス離脱率が10%以下であることも特徴です。従来型のクリニカルパスシステムでは実現不可能であった高い適応率と低い離脱率を達成しています。

看護師の業務についてみると、PCAPSでは厚生労働省標準規格である看護実践用語標準マスターを採用した構造化看護記録が可能であり、従来の叙述記録の削減と記録の効率化で、看護師の記録による時間外労働時間の削減ができています。また、

入力されたデータの2次利用が可能となっており、実際に新型コロナウイルス感染症の院内感染対策に利用されています。さらに、看護思考プロセスナビゲーター(看護ナビ)機能により看護業務を標準的に支援し、看護師の経験の差によらず共通の業務実施が効率的に行えるようになっていきます。

この取り組みが2021年6月にNHKのニュースウオッチ9などで複数回紹介され、他施設からも注目されています。現在は、看護師に対する機能のみがマスコミでは注目されていますが、今後は、医師や他の医療スタッフも巻き込んで、病院内全体で医療の質改善ができるようにと考えています。PCAPSはそのポテンシャルを十分に持っているシステムです。

PCAPSの機能を実装したチームコンパスの情報については、当院のシステムの導入およびメンテナンスを行っているドクターズモバイルのホームページ内のYouTubeチャンネル「あしたのカルテ」で確認できます。興味のある方はご覧ください。

キャンパスニュース

Campus News

4.15

MBT コロナ克服キャンペーン冊子が完成しました

MBT 研究所は MBT コンソーシアムと連携し、医学的に正しいコロナ感染防止策の取り組み「MBT コロナ克服キャンペーン」を推進しています。

コロナ感染防止対策の基本として「3感染ルート(接触、飛沫、エアロゾル)遮断」を提唱しており、その考えに基づき、全国の企業や自治体、商店街、社寺、ホテル等を対象とした感染対策指導、感染対策を取り入れたイベントの開催、YouTube を通じた感染対策情報の発信などに取り組んできました。

これらの取り組みは現在の危機に役立つだけでなく、後世に伝える意義は大きいと考え、このたび一冊の冊子にまとめました。大学 HP にも掲載していますので、是非ご覧ください。



4.21

大学発ベンチャー立上げ支援について議論しました

MBTは「研究成果は論文で終わらず、製品やサービスとなって人々に貢献しなければならない」ことを理念としています。これを達成するにはアントレプレナーシップ(起業家精神)が根付く必要があり、MBTでは本学教員等の大学発ベンチャー起業に関し積極的に支援を行っています。

今回のMBT研究所運営会議の中では、現在実施しているベンチャー起業支援内容の報告を受け、支援内容の更なる充実、今後の活動方針について話し合いが行われました。

その他、MBT コロナ克服キャンペーンの実施状況、MBT 活動全体の今後の方針について議論を行いました。

まだまだ続くコロナ禍の中で、MBTは存在感のある活動を積極的に行っていきたいと思っています。



アントレプレナーシップについて議論

5.14

ICT見守り・健康増進に係るMBTセミナーを開催しました

京都府綾部市においてICT見守り・健康増進に係る事業を推進しており、MBT研究所の梅田副所長が「医学を基礎とするまちづくり(MBT)について学ぶセミナー」を開催しました。

セミナーでは、ICTの活用によって、高齢者の健康と遠方に暮らす家族が安心できる環境作りを目的とし、普段の生活行動も含めてリアルタイムでデータ化する重要性を訴えました。

参加された市長や議員を含む関係の方々、綾部市が直面する高齢化問題の中で、ICTを活用することについて、行政として大きな期待感を示されました。

MBTは、今後も地域包括ケアシステムやコミュニティづくりの一助となることを目的とし、積極的に関わっていきたく思います。



MBTセミナーの様子

5.16

近鉄健康フェスタで健康セミナーを開催しました

2019年度 近鉄グループとMBT研究所等が連携し、国土交通省モデル事業の採択を受けてヘルスケアサービスの実証テストを奈良市で実施しました。

前回の実証テストで学園前・登美ヶ丘にお住まいの300名に参加していただき、健康増進などを目的に健康セミナーなどを行ったところ、健康についての意識の改善や体力の向上効果が見られたため、今回、改めて健康フェスタ(健康測定・健康セミナー・健康体操)での開催となりました。

健康セミナーでは、MBT研究所の梅田智広副所長が超高齢社会に対し、予防医療・健康管理の観点から予防と対策など解説し、食生活や運動不足などを見直していただきたいと呼びかけました。また、最新技術の紹介やロボットのデモなどを行い、参加者から関心を集めていました。

MBTでは、今後も健康的で安全・安心な暮らしを支えるため積極的に取り組んでいきます。



健康セミナーの様子

5.27

MBT難病克服キャンペーンについて討議しました

現在MBTでは医学的に正しい感染対策を推進する「MBTコロナ克服キャンペーン」を実施中ですが、この活動と並行して「難病」に苦しむ人々をサポートするための「MBT難病克服キャンペーン」を実施します。難病とは発病の機構が明らかでなく、治療方法が確立していない希少な疾病です。サポートの方法としては、難病に苦しむ患者救済に向けた全国活動を行う団体等への寄附を実施する予定です。

今回のMBT研究所運営会議の中では、寄附の募り方や団体等への寄附方法等について議論を行い、少しでも難病に苦しむ方々のサポートができるよう検討を重ねました。

学内で、難病に関与されている先生方がいらっしゃいましたら、関連情報のご提供をお願いいたします。

MBTは様々な角度から社会貢献が実施できるよう情報収集に努めています。



MBT活動の打ち合わせ

6.3

V-iCliniX講座運営委員会を開催しました

中谷医工計測技術振興財団の長期大型研究助成を活用して設置した寄附講座「V-iCliniX講座(生体5次元インフォマティクス国際統合ハブ)」の運営委員会を開催しました。

新型コロナウイルスの影響により、前回と同様にウェブ会議となりました。佐藤教授より研究成果と進捗状況の報告があり、コロナの影響で遅れが生じている研究があるものの、着実に成果を上げていること、また所属している学生の積極性にも言及があり、活発に活動が行われていることが伺える会議となりました。



委員会の様子

6.7

MBT 特命教授の特別講義を開催しました

世界的工作機械メーカーである DMG 森精機株式会社の森雅彦取締役社長は、昨年 9 月に本学の MBT 特命教授に就任されました。MBT 特命教授の称号は、産業と医学を結びつけ、イノベーションを起こす実力又は実績があると認められた方に授与しているものです。

このたび学長室会議室で任命式を行い、その後大講堂で「工作機械の世界と DMG 森精機経営ビジョン」と題して森社長からの特別講義が行われました。

講義では、年間 200 日にも及ぶ海外でのビジネス体験を通して、今後の日本人の、特に若者が持つべき世界感やグローバルに生き抜くためのメッセージが熱く伝わりました。また、医科大学での講義ということもあり従業員の健康に配慮した経営の取り組み等の紹介もありました。

工作機械メーカーの社長のお話で、一見距離を感じると思われましたが、多くの熱心かつ真剣な質問が行われました。

この熱い講義の様子は QR コードから視聴できます。



熱く語る森 MBT 特命教授



MBT 特命教授の任命式

講義の様子はここから



6.10

けいはんなリサーチコンプレックスと共同でオンラインセミナーを開催しました

けいはんな学研都市のイノベーションエコシステムを軸に、世界に誇るイノベーションの創出を目指すけいはんなリサーチコンプレックス (RC) 推進協議会と共同で、「グローバル産業創生」をテーマとしたオンラインセミナーを開催しました。

MBT コンソーシアムとけいはんな RC 推進協議会には「産学官連携により、産業創出やそれに伴う人材育成・インフラ作りを目指す」という共通点があり、互いが持っていない機能・知識を補完し合い、産業創出の向上を目指し連携することになりました。

今回のセミナーでは、細井理事長・学長 (MBT 研究所所長) が MBT の理念やコロナ禍における MBT の活動成果を述べられ、MBT 研究所・梅田副所長からは電力使用量データやロボットを活用した遠隔見守り・遠隔診断などの最新の取り組みが紹介されました。

また、MBT 研究所・細川副所長を司会として、医工連携を加えたエコシステムが生み出す新たなイノベーションへの展望や 2025 年の大阪・関西万博におけるパビリオン展開構想に関するディスカッションが行われ、今後、より綿密な連携のもとで共同での活動に取り組んでいくと意気込みを表明しました。



今後の連携への意気込みを述べる細井理事長・学長



最新の MBT 活動を紹介する梅田副所長

6.12 MBT ウエルシア薬局健康ステーションを開催しました

ウエルシア薬局 檀原市中曾司店「ウエルカフェ」にて本学 MBT 研究所が健康ステーションを開催しました。(隔月第二土曜日)

本学 MBT 研究所の梅田副所長 他メンバーが様々な機器でカラダ・肌の状態などを測定、地域住民の方に健康とまちづくりをテーマとして、日頃から健康づくりを意識し自分らしく健康的な生活できるようにアドバイスをしました。

参加者からは、自分の健康状態がわかり生活改善を意識するようになったと大変好評でした。

今回は、AI ロボットや東洋紡の筋肉測定ゲームなどを活用し、楽しく参加していただくことができました。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

MBT は今後も地域コミュニティを深め、積極的に展開を図っていきたいと思います。



健康ステーションの様子

6.17 春日大社からかわいい絵馬を寄贈いただきました

春日大社 花山院弘匡宮司より、小児センターに入院している子どもさんの励ましにと、疫病退散絵馬を寄贈いただきました。絵馬には、ピカチュウの作者としても有名なにしだあつこさんがデザインされた、姿を見せることで疫病が退散するとされるアマビエの「はるちゃん」と、春日の神が鹿島神宮(茨城県)から白い鹿に乗って降り立ったという春日大社の由緒にちなんだ白鹿の「はくちゃん」が描かれています。



春日大社 花山院宮司 (前列右)

小児センター 看護師長 渡邊 敬子

この度は、疫病退散絵馬を寄贈頂きありがとうございました。頂いた絵馬は、ちびっこ広場(プレイルーム)に飾るとともに、入院中の子ども達にも個々に手渡しました。その愛らしいキャラクターに、子ども達も目を輝かせ、御家族からも「心が癒される」と喜びの声を多数頂いています。中には枕元に大事そうに飾って眺め、医師や看護師に自慢げに話すお子さんもおられました。

疫病退散と人々の平安を祈願された絵馬の力添えを頂き、みんなの願いが成就することを、小児センタースタッフも心から願っております。願いを活力にして、今後も子ども達の闘病を全力で応援したいと考えております。本当に真心のこもった贈り物をありがとうございました。



小児センターちびっこ広場 (プレイルーム)

6.17 大学院看護学研究科のオープンキャンパス 2021 を Web 開催しました

大学院看護学研究科のオープンキャンパスは、今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ホームページにおける動画配信により開催しました。

「看護学研究科の紹介と特徴」、「看護学コースの概要」、「助産学実践コースの概要」、「周麻酔期看護師教育課程の概要」について、各教授よりご説明いただいた動画は、8月下旬までホームページで公開中です。

令和4年度の入学試験は、8月23日(二次募集：12月1日※)に実施されます。

※ 一次募集の結果によって、二次募集を実施しない場合があります。



看護学研究科長による看護学研究科の紹介と特徴

6.21 横断的共同研究助成事業及び若手研究者研究助成事業が採択されました

本学の研究の一層の推進を目指して行われている横断的共同研究助成事業・若手研究者研究助成事業について、今年度は下記の研究課題が採択されました。

本学の将来像に定めた横断的・共同研究を推進するための横断的共同研究助成事業には、10件の応募があり、薬理学の中平准教授が研究代表者である共同研究が採択され、500万円が助成されます。

また、若手研究者研究助成事業には9件の応募があり、下記の9名が採択され、それぞれ50万円が助成されます。

■ 横断的共同研究助成事業 採択者

所属名	職	氏名	研究課題名	共同研究者
薬理学	准教授	中平 毅一	ヘテロプラスミーはCOPDの新しい治療およびバイオマーカーのターゲットとなり得るか？	免疫学 教授 伊藤利洋、呼吸器内科学 教授 室繁郎、救急医学 教授 福島英賢、川崎医科大学 教授 友田恒一、免疫学 講師 北畠正大、臨床研究センター 助教 鈴木渉太、薬理学 助教 趙晶

■ 若手研究者研究助成事業 採択者

所属名	職	氏名	研究課題名
分子病理学	助教	森 汐莉	ミトコンドリア障害に起因する抗がん剤抵抗性の獲得機序の解明
脳神経内科学	助教	岩佐 直毅	脳オルガノイドモデルを用いた脳梗塞モデルの構築と病態機序解明
脳神経外科学	医員	森本 堯之	ゲノム編集技術で誘導されるTIGITノックアウトヒトNK細胞を用いた膠芽腫に対する遺伝子細胞治療法の開発
整形外科	助教	塚本 真治	中間悪性度骨腫瘍に対する免疫チェックポイント分子発現を基盤とした新規治療戦略
整形外科	診療助教	川崎佐智子	レーザー溶着アパタイトコーティング技術により骨伝導能を付加した高機能PEEK生体材料の開発
精神医学	助教	高橋 誠人	アルツハイマー型認知症や軽度認知障害(MCI)における表情認知機能低下に対する行動・心理症状(BPSD)と介護負担への影響および脳画像との関連性
泌尿器科学	助教	後藤 大輔	膀胱の尿透過性に影響を与える因子の探索
麻酔科学	学内講師	田中 暢洋	体幹部の神経ブロックが周術期に与える影響 1) modified thoracoabdominal nerves block through perichondrial approach (M-TAPA) の効果の作用機序、効果時間、効果範囲に関する研究 2) 腰方形筋ブロックが大腿四頭筋筋力に与える影響
麻酔科学	診療助教	小川 裕貴	小児に対応した運動誘発電位モニタリングのための麻酔方法の開発

6.24

MBT が主導する産学連携について 討議しました

MBT 研究所では、先生方の持つシーズと企業のニーズのマッチングを随時図っており、企業からの提案を待っているだけでなく、奈良医大からも企業側に積極的に共同研究等の提案ができる体制をとっております。今回の運営会議では、マッチングの取り組み状況や今後の進め方について議論を行いました。

また、MBT 連携企業数の報告や、連携企業間での情報交換ツールの検討、MBT の広報についても検討を重ねました。



企業とのマッチング方法等について論議

7.1

MBT 微生物学研究所株式会社を奈良 医大発ベンチャー企業に認定しました

微生物感染症学 矢野教授が、大学発ベンチャー企業を設立しました。

MBT 微生物学研究所株式会社は、本学がこれまでに先駆けて蓄積してきたオゾンや光触媒、各種化合物等でのウイルス不活化試験の研究成果やノウハウをもとに、微生物・感染症に関するコンサルティング等を行います。感染症対策のニーズや期待が一層高まる中、産業創出の支援と社会貢献を目指して活動を開始しました。

本学および MBT コンソーシアムでは、アントレプレナーシップを身近なものにし、国の方針でもある大学発ベンチャーの起業を積極的に支援していますので、志ある教職員の方は、ぜひ研究推進課までご相談ください。



認定書を手にする矢野代表取締役社長

6.14
7.30

公的研究費の適正使用に係る 研修会を開催しました

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、公的研究費の適正使用に係る研修会及び経理事務等説明会は Web 上の動画配信での開催としました。

今年度は、「研究者が守るべきコンプライアンス」として公的研究費に係る不正事例や「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」の改正内容を中心に説明しました。

なお、各所属には、コンプライアンス教育を徹底するため「公的研究費不正防止計画実施状況報告書」や「誓約書」の提出も求めています。

説明会は 6 月 14 日から 7 月 30 日までの配信としましたが、多数の研究者、教室職員等に閲覧いただき、理解度チェックを提出していただきました。

今回の説明会資料については、研究推進課の学内 HP に資料や様式がありますので、ぜひご活用ください。



<http://www.naramed-u.ac.jp/gakunai/soshiki/kenkyu/yoshiki/kakushuyoshiki.html>

ご家族が東京オリンピック男子ホッケー 日本代表に選ばれました

B棟8階 看護師長 霧下 由美子

この度、息子 霧下義貴(22歳)が東京2020オリンピック男子ホッケー日本代表に選ばれました。中学のクラブ活動でホッケーを始め、大学で日本代表入りしディフェンダーとして2018年アジア競技大会初優勝に貢献してきました。7月23日から始まるオリンピックには1963年メキシコ大会以来53年ぶりの出場となり、チーム最年少として出場します。初戦では世界ランキング1位のオーストラリアと対戦します。日本(世界ランキング15位)がどこまで挑戦できるか大いに楽しみです。

これまで多くの大学・病院関係者の方々に応援していただきありがとうございます。今後も応援よろしく願いたします。



7月24日のオーストラリア戦ではゴールを決め、チームに貢献しました。

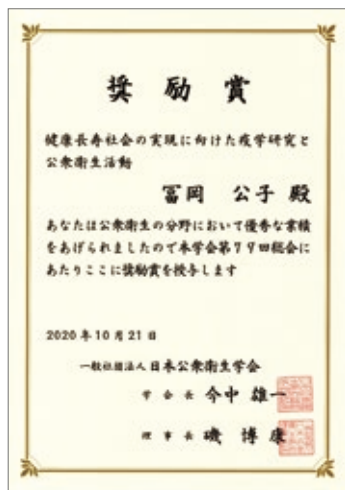
Winner Report

10.21

第79回日本公衆衛生学会にて 奨励賞を受賞しました

県民健康増進支援センター 特任准教授 富岡 公子

2020年10月21日に、Web開催となった第79回日本公衆衛生学会にて奨励賞を受賞し、受賞講演「健康長寿社会の実現に向けた疫学研究と公衆衛生活動」を行いました。研究成果として、社会参加の推進、趣味・生きがい作り、難聴対策が健康長寿社会を実現する上で有効であることを提示しました。今回の受賞に際しまして、ご指導頂きました佐伯教授、車谷名誉教授、中和保健所長山田先生に心より感謝すると共に、今後も健康長寿社会の実現に向けた疫学研究と公衆衛生活動を継続発展させて参ります。



12.11

若手日本研究皮膚科学会賞 (若手 JSID 賞) を受賞しました

皮膚科学 准教授 新熊 悟

この度、若手日本研究皮膚科学会賞(若手 JSID 賞)を受賞いたしました。若手 JSID 賞は最近5年間における国内の研究皮膚科学分野において優秀な業績を挙げた者に授与される賞です。本受賞にあたり、これまでご指導いただきました北海道大学清水名誉教授、新潟大学阿部教授、そして浅田教授をはじめ、多くの皆様に深く感謝申し上げます。



3.12

第39回 Cytoprotection に おいて研究会奨励賞を受賞しました

消化器内科学 講師 藤永 幸久

第39回 Cytoprotection 研究会(2021年3月12日)におきまして、奨励賞を受賞しました。この場をお借りして、吉治先生をはじめ、消化器内科学講座の諸先生方より多くのご指導とご支援をいただいたことに、感謝申し上げます。受賞演題は『肝硬変に対するリファキシミンの腸管透過性改善効果についての検討』でした。近年、腸肝相関が注目されており、肝性脳症に使用するリファキシミンの肝硬変の病態改善効果および腸管透過性への影響を中心に基礎的、臨床的に検討しました。今回の受賞を励みに、より一層の努力を重ねていきたいと思っております。



3.18

2020年度内藤記念科学奨励金・ 研究助成を受賞しました

皮膚科学 准教授 新熊 悟

この度、「上皮間葉転換に着目した復帰変異細胞の増殖優位性獲得機序の解明」に関する研究に対して、2020年度内藤記念科学奨励金・研究助成を受賞いたしました。本研究により復帰変異細胞で認められる増殖優位性の獲得機序を解明し、遺伝子治療に応用することで、一部の皮膚を遺伝子治療するだけで治療した細胞が自律的に増殖し、広範囲で未治療の細胞と置き換えることが可能になる遺伝子再生治療につなげたいと考えています。日々ご指導いただいている浅田教授をはじめ、皮膚科学教室員の皆様、関係者各位に御礼申し上げます。

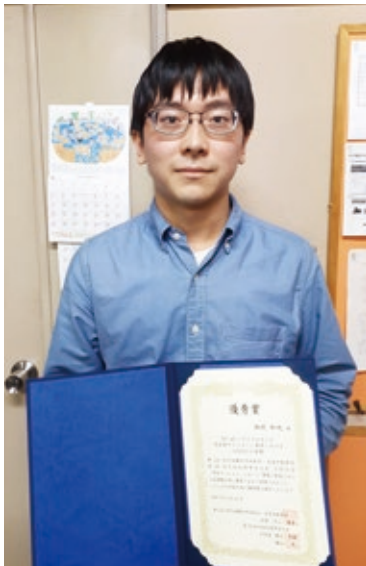


3.30

第126回日本解剖学会総会・全国学術集会の学生セッションで優秀賞を受賞しました

医学科6年(解剖学第二) 西村 和也

この度、第126回日本解剖学会総会・全国学術集会の学生セッションにおいて、優秀賞を受賞しました。演題は「NF- κ B シグナルを介した炎症性サイトカイン発現におけるSNX25の役割」です。この研究は細胞内輸送に関わるSNX25が炎症の重要な因子であるNF- κ Bシグナルを調節するという内容です。本受賞にあたり、ご指導いただいた和中明生先生、田中達英先生をはじめご指導いただきました解剖学第二講座の皆様へ感謝致します。



4.15

日本医学放射線学会総会において Japanese Journal of Radiology 優秀論文賞を受賞しました

放射線診断・IVR学 助教 立元 将太
(現：総合大雄会病院勤務)

令和3年4月15～18日、横浜市内で開催されました日本医学放射線学会総会において Japanese Journal of Radiology 優秀論文賞を受賞しました。論文「Accuracy of magnetic resonance imaging in predicting dentate line invasion in low rectal cancer」は、下部直腸癌における歯状線浸潤のMRI診断能を評価した研究です。この場をお借りして吉川公彦病院長ならびに伊藤高広講師、中央内視鏡部小山文一病院教授、病理診断学講座森田剛平助教のご指導に感謝申し上げます。



4.8

MSD社のCRC Award 2020を受賞しました

臨床研究センター CRC 木原 有里子

このたび、臨床研究センターの木原有里子CRCがMSD社のCRC Award 2020を受賞しました。CRC (Clinical Research Coordinator) は臨床研究コーディネーターとも言われており、治験業務の円滑な進行と運営を支援する専門家で、患者さんと医師、製薬会社の間に立って治験に関する業務全般を調整しています。

同賞はMSD社の治験に対して貢献したCRCを表彰するもので、今回KEYNOTE-426試験における功績が高く評価され、同賞に選定されました。今回の受賞は、CRCをはじめ臨床研究センターのスタッフ全員のクオリティが高く評価されたものと考えられ、今後の励みにしたいと思います。



4.17

高木賞を受賞しました

皮膚科学 准教授 新熊 悟

この度、「復帰変異モザイクモデルマウスの作製と表皮細胞の増殖優位性獲得機序の解明」に関する研究に対して、高木賞を受賞いたしました。高木賞は日本国内における皮膚科学の発展に向けて創造的な研究に取り組んでいる研究者への支援を目的として創設された賞です。今回の受賞を励みとして、今後も臨床および研究に邁進していく所存です。この賞を受賞するにあたり、ご指導いただきました浅田教授をはじめ、皮膚科学教室や関係者の皆様へ厚く御礼申し上げます。



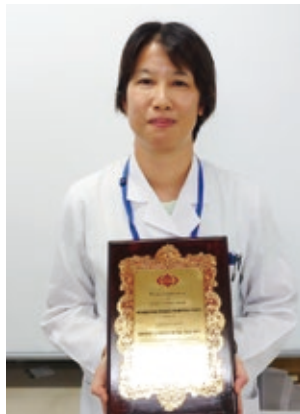
Winner Report

5.4

World Scientists Forum International Awardを受賞しました

皮膚科学 講師 宮川 史

令和3年5月4日付で期せずして International Research Promotion Councilから、アジア部門の science & medicine 領域における Eminent Scientist of the Year 2021 International Award を授与されました。直接のノミネーションは Miyagawa F et al J Transl Autoimmun 2020の論文に基づいていますが、長年にわたる自己免疫/免疫寛容分野のトランスレーショナルリサーチを通しての国際的な学術分野への功績、貢献に対して表彰されました。最近の研究成果は本学の皆様の協力なくしては成し遂げられなかったことです。浅田秀夫教授を始め、教室職員、共同研究者、本学関係者の皆様に心から感謝申し上げます。膨大な労力をかけた研究論文を投稿する度に、相変わらず容赦のない査読に打ちのめされ続けていますが、この賞を励みに今後も微力ながら奈良医大発の研究成果を世界に向けて発信できればと考えています。

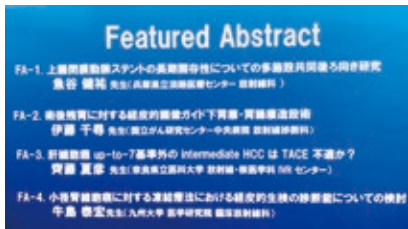


5.21

第50回日本IVR学会総会にて Featured Abstract Awardとして優秀演題賞を受賞しました

放射線診断・IVR学 医員 齊藤 夏彦

2021年5月に完全webで開催されました第50回日本IVR学会総会にて、Featured Abstract Awardとして優秀演題賞を受賞しました。発表内容は、「Is TACE really contraindication for HCC beyond up-to-7 criteria?」です。ご指導頂きました吉川公彦先生、田中利洋先生を始めとした先生方に御礼申し上げます。今後とも精進して参ります。



演者は中央下段

5.27

国際ソロプチミスト奈良一あすか大学院女子学生奨学金クラブ賞を受賞しました

臨床神経筋病態学講座 医学研究科博士課程4年 (脳神経内科学 診療助教) 塩田 智

国際ソロプチミストは、職業に就いている女性の世界的な組織で、女性と女兒の生活向上のため、奉仕活動を実施されており、国際ソロプチミストアメリカ日本中央リジョンは学業・人材ともに優秀な女性の大学院生を対象として、将来社会に貢献し得る人材を育成するための奨学金を設置しています。

女性研究者・医師支援センターからの推薦により、臨床神経筋病態学講座の大学院医学研究科博士課程4年 塩田 智さんが「遺伝子異常に起因する筋萎縮性側索硬化症の病態解明」という研究テーマで国際ソロプチミスト奈良一あすか大学院女子学生奨学金クラブ賞を受賞されました。

国際ソロプチミスト奈良一あすかの高田邦子会長、アワード委員会の中川令子委員長からは、多忙な診療に従事しながら学業や研究に熱心に取り組まれていると高い評価をいただきました。女性研究者・医師支援センターでは、今後も優秀な女性の活躍を応援していきたいと思っております。



左より須崎マネージャー、塩田さん、嶋センター長

5.28

第5回日本血栓止血学会岡本 Shousuke Awardを受賞いたしました

血栓止血研究センター センター長 嶋 緑倫

この度、第5回日本血栓止血学会岡本 Shousuke Award を受賞いたしました。本賞はトラスネキサム酸を開発された岡本彰祐先生の寄付により設立されたもので、血栓止血領域において人類の幸福に寄与しうる研究者を対象とする賞です。受賞にあたり、故福井弘前小児科教授、吉岡章前学長・前小児科教授、藤村吉博前輸血部教授、奈良医大小児科の先生方、中外製薬や藤森工業の皆様にも厚くお礼を申し上げます。



5.28

第43回日本血栓止血学会において第26回日本血栓止血学会学術奨励賞を受賞しました

輸血部 診療助教 酒井 和哉

本学輸血部の酒井和哉先生の応募論文「HLA loci predisposing to immune TTP in Japanese: potential role of the shared ADAMTS13 peptide bound to different HLA-DR」が第26回日本血栓止血学会学術奨励賞に選出され、2021年5月28日に開催された第43回日本血栓止血学会において表彰されました。同論文では日本人における免疫原性血栓性血小板減少性紫斑病 (iTTP) の疾患感受性 HLA が DRB1*08:03 であることを同定しました。今後、iTTP 発症における HLA の及ぼす影響を解明すべく、*in vitro* 基礎研究による解析を行う予定です。

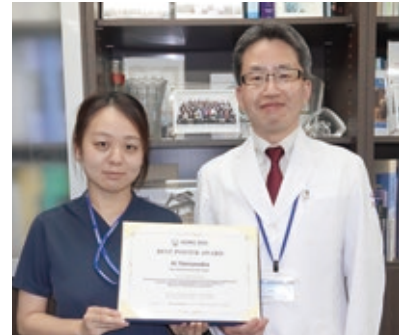


6.10

第19回アジアオセアニア筋学会で優秀ポスター賞を受賞しました

脳神経内科学 大学院生 山中 愛

2021年6月10～11日に韓国釜山でハイブリッド開催されました第19回アジアオセアニア筋学会 (AOMC2021) で、当科大学院生の山中 愛先生が「The importance of comprehensive assessment by pathological findings and myositis-specific autoantibodies in the management of idiopathic inflammatory myopathies」を発表し、見事優秀ポスター賞を受賞しました。特発性筋炎における筋病理所見と自己抗体による分類の再考に関する内容で、新規性の高い研究でした。今後のさらなる筋疾患研究の発展に期待しています。



令和3年度 文部科学省科学研究費助成事業の決定

令和3年度 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金 (文部科学省、独立行政法人日本学術振興会)) が決定しました。令和3年5月1日現在の状況は下記のとおりです。

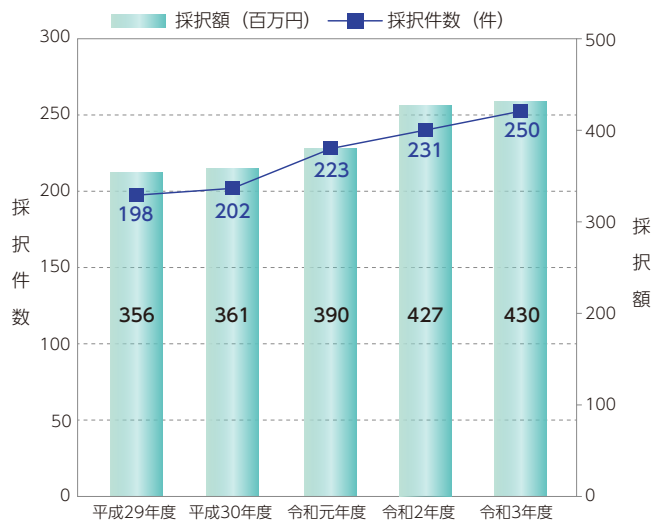
来年度においても積極的な応募申請をよろしくお願い致します。

なお、来年度応募分より、科学研究費助成事業の公募開始時期並びに公募締切時期が変更になり早まっております。

それに伴い学内の応募締切も早くなりました。

詳しくは、研究力向上支援センターまでお問合せください。

	採択件数 (件)	採択額 (千円)	採択額 (千円)	
			直接経費	間接経費
令和3年度	250	429,840	330,900	98,940
令和2年度	231	426,980	328,700	98,280
令和元年度	223	390,040	300,280	89,760
平成30年度	202	360,620	277,400	83,220
平成29年度	198	355,990	273,970	82,020



令和3年度 文部科学省科学研究費助成事業 (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金) 一覧

研究種目	教室名 (R3.5.1)	職名 (R3.5.1)	氏名	研究課題名	研究期間
基盤研究 (A)	公衆衛生学	教授	今村 知明	データ科学・疫学・臨床医学の融合による日本の保険診療情報 (NDB) の全解析	2018～2022
基盤研究 (A)	発生・再生医学	教授	栗本 一基	組織学と複合した単一細胞 DNA メチル化解析法による原始卵母細胞淘汰過程の解明	2020～2024
基盤研究 (A)	血栓止血研究センター	理事 (教育・研究担当)	嶋 緑倫	血友病 A 治療を目指したユニバーサル細胞療法の創出	2020～2023
基盤研究 (A)	公衆衛生学	准教授	野田 龍也	疫学と臨床医学、情報工学の融合によるデータベース医学の標準的疾患定義の開発	2020～2024
基盤研究 (B)	保健体育	特任教授	岸本 年史	多次元解析による神経性無食欲症のサイコバイオティクスの同定: 治療薬の創発に向けて	2018～2021
基盤研究 (B)	放射線腫瘍医学	教授	長谷川 正俊	高 LET 放射線と抗 VEGF 抗体の併用によるグリオーマ幹細胞制御機構の解明	2018～2021
基盤研究 (B)	第一解剖学	教授	西 真弓	新規行動解析システムによる幼少期生育環境が脳及び行動に及ぼす影響の神経基盤の解明	2019～2022
基盤研究 (B)	循環器内科学	教授	斎藤 能彦	慢性腎臓病に合併する心不全発症におけるアフターロードミスマッチの分子機序の解明	2019～2021
基盤研究 (B)	消化器・総合外科学	教授	庄 雅之	難治性消化器癌に対する治療抵抗性克服による新規集学的免疫治療戦略の開発	2019～2022
基盤研究 (B)	麻酔科学	教授	川口 昌彦	術後生活機能障害の5年間追跡調査とプレハビリテーションプログラムの有効性評価	2019～2023

Winner Report

研究種目	教室名 (R3.5.1)	職名 (R3.5.1)	氏名	研究課題名	研究期間
基盤研究 (B)	疫学・予防医学	特任准教授	大林 賢史	光曝露が糖尿病・心血管疾患・がん・認知症の発症および予後に及ぼす中長期影響	2019～2023
基盤研究 (B)	在宅看護学	教授	小竹 久実子	喉頭全摘出者の QOL 向上へつなげる看護体制の構築：RCT による縦断的介入	2019～2022
基盤研究 (B)	第二生理学	教授	堀江 恭二	全能性状態の誘導による人工的動物個体作製法の開発	2020～2023
基盤研究 (B)	未来基礎医学	准教授	森 英一朗	生物学的相分離の制御機構	2020～2022
基盤研究 (B)	精神医学	准教授	牧之段 学	小児期栄養環境が形づくる髄鞘構造とその精神症状への効果の検討	2020～2022
基盤研究 (B)	発生・再生医学	准教授	小林 久人	ゲノム刷り込み機構の機能的多様性を明らかにする種間インプリントム比較解析	2021～2024
基盤研究 (B)	皮膚科学	准教授	新熊 悟	復帰変異モザイクモデルマウスを用いた表皮細胞の増殖優位性獲得機序の解明	2021～2023
基盤研究 (B)	胸部・心血管外科学	病院教授	澤端 章好	末梢血循環癌細胞 (CTC) の Liquid biopsy 標的としての含意探索	2021～2023
基盤研究 (B)	化学	教授	酒井 宏水	人工赤血球の一酸化炭素 / 酸素運搬機能の最適化による出血性ショック蘇生効果の向上	2021～2023
新学術領域研究 (研究領域提案型)	発生・再生医学	教授	栗本 一基	組織学的情報とリンクした単一細胞遺伝子発現プロファイル動態の解明	2018～2022
新学術領域研究 (研究領域提案型)	第二生理学	助教	吉田 純子	変異 ES 細胞を用いた分化状態と未分化状態の遷移制御機構の解析	2020～2021
基盤研究 (C)	精神医学	講師	山内 崇平	自閉スペクトラム症における M2 マクロファージ機能不全に着目した病態解明	2018～2022
基盤研究 (C)	麻酔科学	講師	林 浩伸	胸部大動脈人工血管置換術中のレーザーベックルフローグラフィーによる眼血流測定	2018～2021
基盤研究 (C)	口腔外科学	学内講師	川上 正良	顎顔面の形態発生を制御する新規シグナル伝達機構	2018～2021
基盤研究 (C)	老年看護学	教授	澤見 一枝	認知症予防における発展的介入：居宅や施設を訪問して介入する人材の養成と効果の検証	2018～2022
基盤研究 (C)	リハビリテーション科	病院教授	城戸 顕	骨転移を有する長期生存がん患者・悪性骨腫瘍患者の身体活動量維持プログラムの開発	2018～2021
基盤研究 (C)	疫学・予防医学	博士研究員	石塚 理香	写真法で客観測定した食事時刻とサーカディアンリズムに關数疫学研究	2018～2021
基盤研究 (C)	第二解剖学	准教授	辰巳 晃子	抑制性神経回路特異的なアストロサイトの同定とその機能解析	2019～2021
基盤研究 (C)	病理診断学	講師	伊丹 弘恵	悪性中皮腫に発現する HEG1 の制御に関わるマイクロ RNA の探索と分子機序の解明	2019～2021
基盤研究 (C)	がんゲノム・腫瘍内科学	教授	武田 真幸	クリニカルシーケンスにて同定される新規遺伝子変異の機能解析	2019～2021
基盤研究 (C)	第二解剖学	講師	田中 達英	痛覚鈍麻マウスを用いた順遺伝学的スクリーニングによる新たな疼痛制御因子の同定	2019～2021
基盤研究 (C)	脳神経内科学	講師	桐山 敬生	ヒト脳オルガノイドを用いた神経変性疾患を引き起こすリピート病の病態解析	2019～2021
基盤研究 (C)	精神医学	学内講師	鳥塚 通弘	マクロファージとヒト iPS ニューロン共培養系による統合失調症・ASD 病態解析	2019～2021
基盤研究 (C)	精神医学	博士研究員	芳野 浩樹	社会的隔離モデルによる社会性の神経回路の同定 内側前頭前野-橋-小脳を中心に	2019～2021
基盤研究 (C)	RI 実験施設	博士研究員	小橋川 新子	運発性活性酸素種抑制による正常細胞の防護	2019～2022
基盤研究 (C)	放射線診断・IVR 学	理事 (医療担当)	吉川 公彦	下肢動脈カルシウムスコアと PAD 治療予後に関する前向きコホート研究	2019～2021
基盤研究 (C)	放射線診断・IVR 学	博士研究員	正田 哲也	肝細胞癌 TACE における多孔性ガラス膜新規乳剤デバイスの製品化に向けた開発	2019～2021
基盤研究 (C)	小児科学	助教	石原 卓	凝固線溶バランスを基盤とした小児がん血栓症に対する新規テラーメド治療の確立	2019～2021
基盤研究 (C)	呼吸器内科学	非常勤講師	熊本 牧子	肺線維症患者に対する間葉系幹細胞療法の臨床応用を目指した有効な新規マーカーの探索	2019～2022
基盤研究 (C)	皮膚科学	講師	宮川 史	SLE モデルマウスにおける炎症性単球の病態への関与の解明	2019～2021
基盤研究 (C)	教育開発センター	教育教授	若月 幸平	消化管虚血再還流障害による癌転移促進のメカニズムの解明と転移抑制治療への応用	2019～2021
基盤研究 (C)	消化器・総合外科学	博士研究員	石田 和寛	消化器癌進展における E3 ユビキチンリガーゼ発現異常の役割解明	2019～2021
基盤研究 (C)	消化器・総合外科学	助教	北東 大督	T 細胞不活化経路をターゲットとした腫瘍免疫療法と抗腫瘍薬を併用した新規治療の開発	2019～2021
基盤研究 (C)	消化器・総合外科学	講師	久下 博之	肛門病変検体を用いた T 細胞不活化によるクローン病新規免疫療法探求	2019～2021
基盤研究 (C)	救急医学	助教	川井 廉之	敗血症における原因菌の迅速同定技術の開発	2019～2021
基盤研究 (C)	脳卒中センター	准教授	中川 一郎	メラトニン受容体を介したミトコンドリア膜電位制御のメカニズム	2019～2021
基盤研究 (C)	整形外科	教授	田中 康仁	間葉系幹細胞シートを用いた神経束移植における新規治療法の確立	2019～2022
基盤研究 (C)	産婦人科学	博士研究員	吉元 千陽	MR スペクトロスコピーを用いて子宮内膜癌の悪性化を早期に予測する新規検査法の確立	2019～2021
基盤研究 (C)	産婦人科学	医員	常見 泰平	妊娠高血圧症候群の胎盤形成におけるインプリンティング遺伝子の関与	2019～2021
基盤研究 (C)	産婦人科学	助教	長安 実加	PIK3CA 遺伝子変異に対する合成致死候補の検索	2019～2021
基盤研究 (C)	産婦人科学	講師	成瀬 勝彦	Danger Signal 抑制による HDP 悪化遅延と新生児周産期予後の改善	2019～2021
基盤研究 (C)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	医員	森本 千裕	ABR を用いた新しい軟骨伝導補聴器の装着効果評価法	2019～2021
基盤研究 (C)	めまいセンター	准教授	山中 敏彰	下肢足圧の中心動揺と荷重量による定量的体平衡検査法の開発	2019～2021
基盤研究 (C)	眼科学	医員	吉川 匡宣	緑内障が生体リズムへ与える影響の検討	2019～2021
基盤研究 (C)	口腔外科学	教授	桐田 忠昭	DNA 修復経路と細胞内物質輸送を標的とした口腔がん治療法の開発	2019～2022
基盤研究 (C)	産婦人科学	准教授	川口 龍二	帝王切開術における選択的・個別的な肺血栓症予防効果の検証と医療経済的評価	2019～2021
基盤研究 (C)	成人急性期看護学	講師	佐竹 陽子	救急領域の終末期における緩和的創傷ケアの構築	2019～2021
基盤研究 (C)	小児看護学	講師	山田 晃子	保護者と子どものかかりつけ医との対話を促進するためのモバイル手帳開発	2019～2022
基盤研究 (C)	保健体育	教育教授	石指 宏通	血栓形成関連因子の変動からみた運動強度閾値の季節・日内変動	2019～2021
基盤研究 (C)	整形外科	講師	小川 宗宏	早期軟骨病変に対する 3 次元軟骨定量評価法に関する研究	2019～2021
基盤研究 (C)	臨床数学	教授	藤本 圭男	非同型な自己正則写像を持つコンパクト複素多様体の研究	2020～2022
基盤研究 (C)	臨床数学	講師	川口 良	トーリック多様体と凸多面体の双方向にわたる応用研究	2020～2022
基盤研究 (C)	薬理学	教授	吉栖 正典	伸展負荷による血管平滑筋細胞死での転写因子 Nr4a の役割解明と動脈解離予防薬開発	2020～2022
基盤研究 (C)	産婦人科学	講師	馬淵 誠士	好中球増多を伴う子宮悪性腫瘍における癌幹細胞による好中球細胞外トラップ誘導機構	2020～2022
基盤研究 (C)	精神医学	講師	紀本 創兵	統合失調症の認知機能障害を来す脳リズム活動破綻へのミトコンドリア機能変化の関与	2020～2022
基盤研究 (C)	放射線診断・IVR 学	講師	西尾福 英之	ナノテクノロジーと分子イメージング技術を融合させた新規 IVR 治療の開発	2020～2022
基盤研究 (C)	循環器内科学	准教授	渡邊 真言	冠動脈石灰化結節の進行を予測する冠動脈プラークおよびリン代謝バイオマーカーの同定	2020～2022
基盤研究 (C)	輸血部	助教	早川 正樹	循環器疾患に合併する後天性フォンウィレブランド症候群の診断法・治療戦略の構築	2020～2022
基盤研究 (C)	呼吸器内科学	教授	室 繁郎	ヒト肺気腫における肺修復機構を CT 画像とマウス実験により評価する手法の確立	2020～2022
基盤研究 (C)	病原体・感染防御医学	准教授	王寺 幸輝	培養毛包 follicle による発毛メカニズムの解析と Wnt シグナルの意義	2020～2022

研究種目	教室名 (R3.5.1)	職名 (R3.5.1)	氏名	研究課題名	研究期間
基盤研究 (C)	小児科学	講師	武山 雅博	活性化プロテイン C およびプロテイン S 制御による安定化 VIII 因子製剤の開発	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	疫学・予防医学	講師	秦野 修	標的プロテオミクスと質量分析法による塩誘導キナーゼとステロイド産生組織の機能解析	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	中央内視鏡部	病院教授	小山 文一	再生医療工学を応用した新しい潰瘍性大腸炎手術の開発	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	消化器・総合外科学	学内講師	赤堀 宇広	CD36 発現解析による新規幹細胞介入療法の開発	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	集中治療部	准教授	恵川 淳二	プレハビリテーションによる脳虚血後の高次脳機能障害の予防及びその機序に関する研究	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	中央手術部	助教	阿部 龍一	直腸癌手術における電極付き尿道カテーテルを用いた術中排尿機能モニタリングの検討	2020 ~ 2023
基盤研究 (C)	中央手術部	講師	西和田 忠	麻酔関連薬剤の血管内皮グリコカリクスに対する影響および保護物質の検討	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	薬理学	准教授	中平 毅一	ミトコンドリア DNA ヘテロプラスミーの制御は敗血症の治療ターゲットになるか?	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	集中治療部	助教	園部 奨太	血管内皮細胞から ARDS の病態を解明する - ヒストン修飾酵素 SETDB2 の意義 -	2020 ~ 2023
基盤研究 (C)	脳神経外科学	学内講師	松田 良介	膠芽腫に対する NK 細胞と新たな免疫チェックポイント阻害の開発	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	玉井進記念四肢外傷センター	准教授	河村 健二	骨形成細胞シートと生体内誘導骨形成膜の融合による新規骨再生研究	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	整形外科	助教	稲垣 有佐	ヒト人工多能性幹細胞の酸素濃度に着目した変化の検証と変形性膝関節症の病態解明	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	泌尿器科学	学内講師	中井 靖	腎細胞癌に対する 5-アミノレプリン酸によるミトコンドリア内鉄利用による抗腫瘍効果	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	泌尿器科学	講師	鳥本 一匡	間質性膀胱炎の脂質代謝に着目した病態解明と血液バイオマーカー開発	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	産婦人科学	助教	木村 麻衣	HNF1 β -USP28-CLASPIN-Chk1 阻害に対する合成致死候補の検索	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	産婦人科学	博士研究員	小林 浩	子宮腺筋症の重症度を非侵襲的に予測する質的画像診断法の確立	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	産婦人科学	博士研究員	重富 洋志	チョコレート嚢胞の癌化を高い精度で予測する検査法の安全性・有効性の検証	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	講師	太田 一郎	がん微小環境における頭頸部がん幹細胞の EMT を介した腫瘍免疫抑制と回避の解明	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	博士研究員	清水 直樹	3 次元病理診断による潜在的高悪性度甲状腺癌の抽出	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	教授	北原 紘	前庭リハビリテーションが静的動的な前庭代償に与える効果の基礎医学的エビデンス構築	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	口腔外科学	助教	上田 順宏	定量評価に基づく顎骨再建シミュレーションと高精度手術デバイスの開発	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	微生物感染症学	助教	中野 章代	野菜、野生動物における薬剤耐性菌の実態解明ならびにヒトへの伝播リスク評価	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	疫学・予防医学	教授	佐伯 圭吾	室内の寒冷曝露と心血管疾患リスクに関する前向きコホート研究	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	基礎看護学	教授	松田 明子	RA 患者の周術期におけるハイリスク薬剤管理に関する医療安全教育プログラム構築	2020 ~ 2023
基盤研究 (C)	精神看護学	講師	奥田 淳	医療観察法通院処遇対象者への訪問看護における看護実践指針の開発	2020 ~ 2023
基盤研究 (C)	精神看護学	講師	橋本 顕子	地域で生活する統合失調症をもつ男性が抱える恋愛や性行為特有の問題への支援	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	消化器・総合外科学	講師	松本 壮平	上部消化管手術後の消化管運動および栄養状態と咀嚼力の関連性	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	整形外科	博士研究員	高木 都	関節リウマチを含む変形性膝関節症の発症メカニズム解明と治療法開発	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	分子病理学	博士研究員	大森 育	がん性心筋障害の原因としてのミトコンドリア DNA の解析	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	組換え DNA 実験施設	准教授	杉浦 重樹	酸化的 DNA 損傷に対する人為的な修復亢進一色素性乾皮症治療を目指して一	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	組換え DNA 実験施設	博士研究員	森 俊雄	ヒト脳オルガノイドを用いた色素性乾皮症 A 群患者の進行性神経障害の機構解析	2020 ~ 2022
基盤研究 (C)	第一生理学	教授	齋藤 康彦	モノアミンによる眼球運動系神経積分器の修飾機構	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	第二解剖学	教授	和申 明生	真皮マクロファージにおける新規の炎症疼痛制御因子の機能解析	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	生化学	助教	山内 晶世	膵 β 細胞におけるグルコース応答性インスリン翻訳調節機構の解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	病理診断学	准教授	藤井 智美	浸潤性膀胱癌に特異的に発現するマイクロ RNA および分化マーカーの発現機序の解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	分子病理学	博士研究員	羅 奕	マイクロ RNA を用いた HMGB1 標的化 - 新規トリプルネガティブ乳癌治療戦略の検討	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	化学	准教授	山本 恵三	新規抗菌薬開発に向けた IMP 型メタロ- β -ラクタマーゼと基質複合体の X 線結晶解析	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	免疫学	助教	王寺 典子 (下嶋典子)	免疫チェックポイント分子 HLA-F を標的とした新規がん免疫療法の開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	放射線診断・IVR 学	助教	越智 朋子	ナノ DDS を応用した腎毒性を低減できる新規造影剤の開発と体内動態の解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	総合画像診断センター	助教	山内 哲司	イメージング質量分析を用いた肝細胞癌 TAE 後の再発機序およびバイオマーカー探索	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	放射線診断・IVR 学	准教授	田中 利洋	腫瘍内微小環境を考慮したエマルジョンを用いた新規カテーテル治療の開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	RI 実験施設	准教授	菓子野 元郎	放射線障害に関わる遅発性活性酸素と核外シグナルの機構解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	小児科学	教授	野上 恵嗣	血液凝固の第 VII 因子制御に基づく血友病 A 及び血栓性疾患の新規治療薬開発の基礎的研究	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	小児科学	特任助教	小田 朗永	血友病 A インヒビター産生応答を制御する脾臓免疫ニッチの同定	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	消化器内科学	教授	吉治 仁志	Drug Repositioning と Leaky Gut 制御による新規肝硬変治療	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	放射線診断・IVR 学	学内講師	市橋 成夫	PAD 患者下肢動脈血行再建後のサルコペニア改善に関する前向きコホート研究	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	循環器内科学	学内講師	尾上 健児	たこつば症候群の発症メカニズム解明を通じた新規心不全治療ターゲットの探索	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	免疫学	講師	北畠 正大	脂質代謝関連分子 ANGPTL4 による肺線維症の病態解明と新規治療戦略の確立	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	皮膚科学	教授	浅田 秀夫	DIHS における HHV-6 持続感染に着目した自己免疫疾患の発症機序の解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	乳腺センター	准教授	池田 直也	独自の遺伝子パネル作成によるトリプルネガティブ乳癌の革新的免疫併用治療戦略の構築	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	脳神経外科	博士研究員	本山 靖	陰部テタヌス刺激による小児術中 MEP 増幅法の開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	玉井進記念四肢外傷センター	医員	岡田 博	液体窒素処理による切断肢の長期凍結保存と再接着に関する実験研究	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	玉井進記念四肢外傷センター	医員	宮本 拓馬	足部・足関節周囲の筋腱モーメントアームが 3 次元動態に及ぼす影響の検討	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	泌尿器科学	教授	藤本 清秀	後腹膜内腫におけるプレシジョン術前補助免疫化学療法確立を目指した基盤研究	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	寄附講座前立腺小線源治療講座	教授 (寄附講座)	田中 宣道	5-アミノレプリン酸による前立腺癌の放射線増感効果と有害事象抑制効果の同時解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	産婦人科学	博士研究員	新納 恵美子	明細胞癌の炎症性間質における免疫担当細胞のプロファイリングと機能解析	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	産婦人科学	医員	中野 和俊	低酸素環境が MDSC による卵巣癌幹細胞化に及ぼす影響の検討	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	産婦人科学	助教	岩井 加奈	子宮腺筋症の遺伝子発現プロファイルによる分類法の確立	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	助教	岡安 唯	骨導超音波を用いた人工内耳のための新しい術前聴力検査の開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	口腔外科学	講師	堀田 聡	微小動揺を指標としてインプラントの免荷期間を再検証する	2021 ~ 2023

Winner Report

研究種目	教室名 (R3.5.1)	職名 (R3.5.1)	氏名	研究課題名	研究期間
基盤研究 (C)	口腔外科学	博士研究員	杉浦 勉	埋入トルク値がインプラント周囲骨の長期安定性に及ぼす影響および適正トルク値の解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	口腔外科学	准教授	山川 延宏	高悪性度口腔癌の再発・転移にかかわる遺伝子の解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	口腔外科学	博士研究員	栗原 都	PXDN によるがん代謝と微小環境を標的とした口腔癌の治療戦略	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	口腔外科学	博士研究員	松末 友美子	光バイオプシーとリキッドバイオプシーを用いた口腔癌の早期診断システムの開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	口腔外科学	講師	柳生 貴裕	薬剤関連顎骨壊死の発症メカニズムの解明と新規予防法 / 治療法の開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	口腔外科学	医員	山本 一彦	抗 claudin-4 抗体による口腔癌に対する化学療法への増強効果	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	消化器内科学	准教授	赤羽 たけみ	歯周病と慢性肝疾患病態の関連解明 - 新たな肝疾患進展予防施策の探索	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	整形外科	博士研究員	田中 誠人	がん骨転移診療システム構築に向けての取り組み	2021 ~ 2024
基盤研究 (C)	臨床研究センター	教授	笠原 正登	腎臓病進展予防を目指した治療介入アプリの開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	女性研究者・医師支援センター	講師	須崎 康恵	女性医師のアカデミックキャリア向上を目指した新たな教育プログラムの開発	2021 ~ 2024
基盤研究 (C)	公衆衛生学	講師	岡本 左和子	在宅医療・介護職視点の認知ギャップを踏まえた医療介護連携促進への対策ツールの開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	糖尿病・内分泌内科学	医員	毛利 貴子	糖尿病患者の治療意欲を引き出す新たな行動変容促進アプローチの開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	微生物感染症学	准教授	中野 竜一	抗菌薬治療に伴う薬剤耐性菌出現の実態解明ならびにそのメカニズム解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	糖尿病・内分泌内科学	講師	岡田 定規	レセプト情報を用いた新たな糖尿病性腎症重症化ハイリスク因子の探索	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	糖尿病・内分泌内科学	医員	紙谷 史夏	SGLT2 阻害薬で下肢切断リスクは増えるのか? : ビッグデータを用いた解析	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	法医学	教授	粕田 承吾	スズラン毒 (convallatoxin) の凝固機能に及ぼす影響	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	成人慢性看護学	講師	升田 茂章	分子標的薬内服治療による手足皮膚反応重症化を予防する看護ケアガイドラインの開発	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	母性看護学	教授	五十嵐 穂子	入院時の分娩進行度と医療介入の関連を基軸とした入院のための診断基準の構築	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	分子病理学	博士研究員	藤井 澄	COVID-19 関連サルコペニアに対する栄養介入と運動負荷の併用の効果	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	精神医学	学内講師	松田 康裕	高機能自閉症者に適した低強度運動プログラムの効果検証	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	動物実験施設	准教授	久保 薫	シムバイオテイクスの粘膜免疫機構を活かした自己免疫疾患の予防・治療に関する研究	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	法医学	講師	工藤 利彰	拡張不全における新規誘導型内皮由来過分極因子による末梢循環調節機構の解明	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	化学	助教	松平 崇	星形構造を持つヘモグロビンポリマーの創製と赤血球代替物への応用を志向した物性制御	2021 ~ 2023
基盤研究 (C)	在宅看護学	助教	西森 旬恵	マッサージを用いた看護基礎教育プログラムの開発と教育的効果の検証	2021 ~ 2023
挑戦的研究 (萌芽)	分子病理学	教授	國安 弘基	ミトコンドリアトランスファーによる抗がん剤耐性誘導を標的とする骨肉腫の治療戦略	2020 ~ 2022
若手研究	小児科学	助教	辻井 信之	川崎病の病態・合併症における VWF-ADAMTS13 軸の解明及び新規治療薬の開発	2018 ~ 2021
若手研究	疫学・予防医学	助教	田井 義彬	脈波自由行動下血圧計による冬季入浴中の血圧の実態調査	2018 ~ 2021
若手研究	腎臓内科学	博士研究員	松井 勝	新規抗動脈硬化因子可溶性 Flt-1 による腎硬化症の発症機序解明と臨床的展開	2018 ~ 2021
若手研究	整形外科	学内講師	清水 隆昌	間葉系幹細胞シートと組織移植を融合させたハイブリッド型自家神経作成の試み	2018 ~ 2021
若手研究	法医学	助教	勇井 克也	新規収縮物質 Up4A を介する炎症時における一過性血管収縮へのアルコールの影響	2018 ~ 2021
若手研究	公衆衛生学	助教	西岡 祐一	全診療報酬情報を用いた糖尿病診療の時空間疫学分析	2018 ~ 2021
若手研究	母性看護学	講師	上田 佳世	医療の質指標 (QI) を用いた低リスク出産の医療改善プログラムの検証	2018 ~ 2021
若手研究	精神医学	助教	岸本 直子	ロールシャッハ・テストと唾液中ストレスバイオマーカーによる ARMS の同定法の検討	2019 ~ 2021
若手研究	第二解剖学	助教	石西 綾美	侵害受容 C 線維の刺激特性を決める遺伝子の探索と labeled line 説の検証	2019 ~ 2021
若手研究	分子病理学	助教	谷 里奈	膵管癌における ρ 0 形質とゲムシタピン耐性獲得との関連性の解析	2019 ~ 2021
若手研究	病理診断学	助教	森田 剛平	平坦型尿路上皮腫瘍の鑑別に有用なマイクロ RNA および関連分子の発現機序の解明	2019 ~ 2021
若手研究	第一解剖学	研究助教	遠藤 のぞみ	集団飼育下長期解析による精神疾患モデルマウスの個体レベルの包括的評価法の構築	2019 ~ 2021
若手研究	脳神経内科学	医員	塩田 智	リピート異常に起因する神経筋疾患の病態解明	2019 ~ 2021
若手研究	脳神経内科学	医員	井口 直彦	Danon 病のヒト病態モデルを用いた解析	2019 ~ 2022
若手研究	精神医学	博士研究員	中西 葉子	注意欠如・多動症の heterogeneity に関する多面的検討	2019 ~ 2021
若手研究	精神医学	博士研究員	北村 聡一郎	自閉スペクトラム症の PTSD 様症状の神経基盤に関する研究	2019 ~ 2021
若手研究	放射線腫瘍医学	講師	三浦 幸子	陽子線の生物学的効果比と放射線肺臓炎の関係: 機能画像、放射化画像の応用による解明	2019 ~ 2021
若手研究	小児科学	助教	古川 晶子	血友病 A 治療におけるインヒビター発生抑制を標的とした新規第 VIII 因子製剤の開発	2019 ~ 2022
若手研究	消化器内科学	学内講師	高谷 広章	血液凝固因子である VWF を用いた肝細胞癌新規治療法と新規バイオマーカーの開発	2019 ~ 2021
若手研究	消化器内科学	医員	才川 宗一郎	肝内胆管癌に対する NOTCH/YAP 経路のクロストーク制御を介する新規治療の開発	2019 ~ 2021
若手研究	呼吸器内科学	助教	藤田 幸男	呼吸波解析を活用して COPD の呼吸困難を読み解く - 新たな呼吸法開発を目指して -	2019 ~ 2021
若手研究	皮膚科学	助教	西村 友紀	薬剤性過敏症候群発症後にヒトヘルペスウイルス 6 の持続感染をきたした症例の検討	2019 ~ 2021
若手研究	消化器・総合外科学	医員	吉川 高宏	ADAMTS13 関連因子を軸とした肝虚血再灌流障害に対する新規治療戦略	2019 ~ 2021
若手研究	中央手術部	助教	植村 景子	全身麻酔下の VEP モニタリングにおける振幅低下時の最適警告基準の検討	2019 ~ 2021
若手研究	麻酔科学	博士研究員	寺田 雄紀	メンブレントラフィックに着目した新たな疼痛メカニズムの解明	2019 ~ 2022
若手研究	分子病理学	博士研究員	中嶋 千恵	口腔衛生が免疫チェックポイント阻害薬の奏功性に及ぼす影響	2019 ~ 2021
若手研究	公衆衛生学	非常勤講師	久保 慎一郎	NDB (レセプトデータ) を用いた難病患者の疫学調査の手法開発と治療実態の把握	2019 ~ 2022
若手研究	基礎看護学	助教	吉川 あゆみ	若年の乳がん患者がパートナーとの関係構築において困難を抱く過程	2019 ~ 2021
若手研究	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	助教	塩崎 智之	めまい平衡リハビリの客観的評価法の確立と効果的リハビリプログラム開発への応用	2019 ~ 2021
若手研究	分子病理学	博士研究員	後藤 桂	悪液質におけるクリアチン・サイクル障害の検討	2019 ~ 2021
若手研究	精神医学	助教	盛本 翼	メンタルヘルスリテラシーに関する教員教育方法の確立	2020 ~ 2021
若手研究	発生・再生医学	助教	長岡 創	転写因子 ZGLP1 によるマウス胎原生殖細胞の雌性運命決定機構の解明	2020 ~ 2022
若手研究	精神医学	助教	山室 和彦	幼少期社会経験が構築する前頭葉 - 視床室傍核回路の解明	2020 ~ 2022
若手研究	整形外科	博士研究員	増田 佳亮	脊髄離断モデルラットに対する骨髄間葉系幹細胞シート移植における移植時期の検討	2020 ~ 2023
若手研究	脳神経内科学	助教	七浦 仁紀	筋萎縮性側索硬化症における液-液相分離制御シヤペロンの機能解析	2020 ~ 2021
若手研究	脳神経内科学	助教	江浦 信之	ヒト脳オルガノイドを用いた難治性中枢神経疾患の病態解明	2020 ~ 2022

研究種目	教室名 (R3.5.1)	職名 (R3.5.1)	氏名	研究課題名	研究期間
若手研究	精神医学	助教	岡崎 康輔	成人期自閉スペクトラム症における性差と逆境的小児期体験の影響の検討	2020～2023
若手研究	精神医学	助教	小森 崇史	マイクログリア由来 BDNF が社会性に与える影響の解析	2020～2022
若手研究	放射線診断・IVR学	医員	松本 武士	がん免疫逃避機構からみた肝動脈塞栓術後再発メカニズムの解明と、新規治療戦略の開発	2020～2022
若手研究	放射線診断・IVR学	助教	南口 貴世介	レンパチニブ投与後の肝臓の血流動態変化の解析とレンパチニブ先行 TACE の機序解明	2020～2021
若手研究	総合画像診断センター	助教	佐藤 健司	進行肝細胞癌に対するレンパチニブ含浸ビーズを用いた新規 IVR 治療の開発	2020～2021
若手研究	血栓止血薬生物学共同研究講座	特任助教	坂田 飛鳥	グリコカリックス・赤血球による血栓制御に着目した溶血性尿毒症症候群治療法の創出	2020～2022
若手研究	循環器内科学	助教	上田 友哉	ABPM および BIA を用いた、HFpEF の病態および治療開発にむけた研究	2020～2022
若手研究	病原体・感染防御医学	助教	西村 知子	特発性肺線維症における線維芽細胞集形成のメカニズム解明：患者肺検体の解析から	2020～2022
若手研究	皮膚科学	特任助教	御守 里絵	分子標的治療薬による皮膚障害発症機序の解明	2020～2022
若手研究	感染症センター	助教	今北 菜津子	インフルエンザウイルス感染重症化におけるヒストン修飾酵素 SETDB2 の機能解明	2020～2022
若手研究	消化器・総合外科学	医員	定光 ともみ	骨髄幹細胞移植と血球除去療法併用による難治性潰瘍性大腸炎に対する新規治療法の開発	2020～2022
若手研究	消化器・総合外科学	医員	中出 裕士	Cullin4A を介した食道癌の進展機序の包括的解明と新規治療戦略の開発	2020～2022
若手研究	消化器・総合外科学	助教	中川 顕志	胆膵癌における CD200 発現の意義の解明と治療抵抗性を標的とした新規治療法の開発	2020～2021
若手研究	分子病理学	博士研究員	西口 由希子	HMGB1 標的化による胃癌におけるシスプラチン耐性阻害	2020～2021
若手研究	消化器・総合外科学	医員	宮尾 晋太郎	消化器癌進展における CBLC 発現の包括的解明	2020～2021
若手研究	胸部・心臓血管外科学	助教	福場 遼平	左心負荷モデルにおける新しい指標としての肺動脈キャパシタンスの有用性	2020～2021
若手研究	胸部・心臓血管外科学	助教	平賀 俊	人工赤血球投与による脊髄虚血改善に関する研究	2020～2023
若手研究	麻酔科学	講師	内藤 祐介	ヘモグロビン小胞体の AKI 予防効果についての検討	2020～2023
若手研究	分子病理学	助教	岸 真五	ミトコンドリア小胞体関連タンパク PDZD8 を標的とする骨肉腫治療戦略	2020～2021
若手研究	泌尿器科学	助教	堀 俊太	日本人生体腎移植レシピエントにおける腸内細菌叢と移植免疫の関連解析	2020～2021
若手研究	産婦人科学	助教	市川 麻祐子	リゾリン脂質経路の絨毛細胞機能への役割と妊娠高血圧腎症の病理機序の解明	2020～2022
若手研究	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	医員	伊藤 妙子	メニエール病発症機序の解明。内リンパ水腫はメニエール病の原因か。	2020～2022
若手研究	眼科学	学内講師	辻中 大生	網膜色素上皮の色素産生能が加齢黄斑変性発症に与える役割	2020～2022
若手研究	口腔外科学	医員	今田 光彦	ビスフォスフォネート関連顎骨壊死を予防する塩基性線維芽細胞増殖因子の作用機序解明	2020～2022
若手研究	成人急性期看護学	助教	森脇 裕美	心血管系の手術を受ける高齢患者の足の形態および機能の検証とフットケアの実態	2020～2022
若手研究	精神医学	非常勤講師	木納 潤一	統合失調症者に対する運動課題と認知課題の多重課題プログラム CAT の効果検証	2020～2023
若手研究	公衆衛生看護学	助教	堀内 沙央里	奈良県内の地域住民とその環境におけるピロリ菌の蔓延実態ならびに感染源の包括的解明	2020～2022
若手研究	分子病理学	博士研究員	川原 勲	温熱療法併用による癌性筋萎縮促進物質の抑制	2020～2021
若手研究	整形外科	助教	石田 由佳子	虚弱者に対する身体活動量を指標とした新しい筋電気刺激 EMS 併用リハビリテーション	2020～2022
若手研究	リハビリテーション科	講師	眞野 智生	脳卒中運動麻痺に対する運動負荷を基盤とした脳内メカニズム解析	2020～2022
若手研究	第二生理学	助教	吉田 純子	順遺伝学で同定した新規遺伝子によるマウス・ヒトにおける神経分化制御機構の解明	2021～2024
若手研究	未来基礎医学	助教	菊池 壮太郎	減数分裂期の染色体軸形成を担うコヒーシオンと HORMAD1 の構造機能解析	2021～2022
若手研究	発生・再生医学	助教	池田 宏輝	空間的な単一細胞の遺伝子発現解析による始原生殖細胞の潜在的な多能性の制御機構解明	2021～2023
若手研究	生化学	助教	牧野 舞	2 型リアノジン受容体の組織特異的スプライシングバリエーションの心筋機能との関連の解明	2021～2023
若手研究	病理診断学	助教	内山 智子	子宮平滑筋肉腫における ATRX 発現とその機能及び分子機構の解明	2021～2023
若手研究	放射線診断・IVR学	助教	岩越 真一	腹部大動脈瘤に対するステント内挿術後の MRI 画像における Radiomics 解析	2021～2025
若手研究	放射線診断・IVR学	講師	伊藤 高広	トモシンセシスを用いた新たな大腸癌深達度診断法の確立	2021～2022
若手研究	NICU	講師	内田 優美子	光療法は神経毒性をもたらすか？ビリルビン光学異性体と血液脳関門モデルを用いた研究	2021～2022
若手研究	第二生理学	講師	坂野 公彦	オンチップ血管網を用いた Sturge-Weber 症候群モデル構築と発症機序の解明	2021～2023
若手研究	消化器内科学	医員	辻 裕樹	NASH におけるエンドトキシンの腸管内吸着を介した肝発癌抑制治療の開発	2021～2024
若手研究	消化器内科学	助教	西村 典久	加齢による肝線維化進展促進に関わる新たな因子の同定とその分子学的メカニズム	2021～2023
若手研究	血栓止血先端医学講座	助教	三谷 成二	幹細胞由来肝膵洞内皮細胞の作製と肝線維化治療への応用	2021～2023
若手研究	循環器内科学	医員	中野 知哉	心不全患者の心筋組織を用いた β アドレナリン受容体遮断薬の治療反応性予測指標の探索	2021～2023
若手研究	腎臓内科学	講師	江里口 雅裕	ネプリライシンとアンジオテンシン変換酵素による腎臓での塩分ハンドリングと血圧調節	2021～2023
若手研究	総合医療学	講師	大野 史郎	虚血再灌流性および薬剤性腎傷害と血小板血栓制御系の関連	2021～2023
若手研究	脳神経内科学	博士研究員	正畠 良悟	間歇的低酸素が筋細胞においてインスリン抵抗性関連遺伝子発現に与える影響	2021～2022
若手研究	消化器・総合外科学	助教	西和田 敏	個別化治療を目指した網羅的解析による膵癌再発予測 miRNA パネルの開発	2021～2023
若手研究	消化器・総合外科学	医員	洲尾 昌伍	難治性小児固形癌に対する新たな免疫ターゲットの探索と治療法の開発	2021～2023
若手研究	消化器・総合外科学	医員	松尾 泰子	大腸癌肝転移における CD200 を介した治療抵抗性獲得機構の解明と新規治療法の開発	2021～2023
若手研究	消化器・総合外科学	助教	長井 美奈子	膵癌治療抵抗性関連分子の発現制御による新規集学的治療戦略の開発	2021～2023
若手研究	がんゲノム・腫瘍内科学	医員	國重 智裕	ユビキチン修飾系を標的とした新規消化器癌治療法の開発	2021～2023
若手研究	整形外科	医員	岡村 建祐	ヒト人工多能性幹細胞由来の骨形成細胞集合体を用いた再生医療の検討	2021～2023
若手研究	MFICU	助教	河原 直紀	卵巣明細胞癌における ARID1A 変異に対する CCNE1 の合成致死メカニズムの解明	2021～2023
若手研究	口腔外科学	博士研究員	高橋 佑佳	味蕾の細胞増殖や維持、再生メカニズムの解明	2021～2023
若手研究	疫学・予防医学	助教	山上 優紀	COVID-19 感染拡大が身体活動量およびサルコペニア・フレイルに及ぼす影響	2021～2023
若手研究	分子病理学	博士研究員	森 拓也	骨格筋特異的マイクロ RNA による COVID-19 関連骨格筋障害の抑制	2021～2022
若手研究	微生物感染症学	助教	鈴木 由希	病院排水を利用した薬剤耐性菌監視システムの構築と耐性遺伝子拡散機構の解明	2021～2023
研究活動スタート支援	病原体・感染防御医学	助教	北村 知高	肺由来生体・生物材料を用いた多能性幹細胞から肺オルガノイドの創生	2020～2021
特別研究員奨励費	病原体・感染防御医学	特別研究員 (DC1)	三須 政康	重症熱性血小板減少症候群ウイルスに対する感染阻止モノクローナル抗体の探索	2020～2022

大学院入試日程

令和3年度 秋入学 大学院医学研究科（博士課程）

専攻	募集人員	出願期間	試験日	合格者発表
医科学	若干名	令和3年7月12日(月)～7月16日(金)	令和3年8月2日(月)	令和3年9月14日(火)

- 社会人※の入学も可能です。
- 社会人には、長期履修制度を設けています。

令和4年度 大学院医学研究科（博士課程）

専攻	募集人員	出願期間	試験日	合格者発表
医科学	40	第一次募集 令和3年10月11日(月)～10月15日(金)	第一次募集 令和3年11月1日(月)	第一次募集 令和3年12月14日(火)
		第二次募集 令和4年1月4日(火)～1月7日(金)	第二次募集 令和4年1月24日(月)	第二次募集 令和4年3月8日(火)

- 社会人※の入学も可能です。
- 社会人には、長期履修制度を設けています。
- 一次募集の結果によって、二次募集を実施しない場合があります。
- 令和4年度秋入学の実施については未定です。
- 大学院修学資金貸与制度（要件を満たした場合返還免除）があります。

令和4年度 大学院医学研究科（修士課程）

専攻	募集人員	出願期間	試験日	合格者発表
医科学	5	第一次募集 令和3年10月4日(月)～10月8日(金)	第一次募集 令和3年11月1日(月)	第一次募集 令和3年12月14日(火)
		第二次募集 令和4年1月4日(火)～1月7日(金)	第二次募集 令和4年1月24日(月)	第二次募集 令和4年3月8日(火)

- 社会人※の入学も可能です。但し、令和4年3月31日までに概ね1年以上の実務経験を有することが必要です。
- 一次募集の結果によって、二次募集を実施しない場合があります。

令和4年度 大学院看護学研究科（修士課程）

専攻	コース	専門	募集人員
看護学	看護学コース	【領域】 健康科学 基礎看護学 看護実践応用学 がん看護学 高齢者看護学	小児看護学 精神看護学 公衆衛生看護学 在宅看護学 女性健康・助産学
		高度実践看護師教育課程（クリティカルケア看護分野、がん看護分野） 周麻酔期看護師教育課程	
	助産学実践コース	【領域】 女性健康・助産学	5

出願期間	試験日	合格者発表
第一次募集 令和3年7月20日(火)～7月27日(火)	第一次募集 令和3年8月23日(月)	第一次募集 令和3年9月14日(火)
第二次募集 令和3年10月20日(水)～10月25日(月)	第二次募集 令和3年12月1日(水)	第二次募集 令和3年12月14日(火)

- 社会人※の入学も可能です。但し、令和4年3月31日までに概ね1年以上の実務経験を有することが必要です。
 - 社会人には、長期履修制度を設けています。
 - 本学学部からの進学者、奈良県内に住所を有し要件を満たす者については入学金が免除される入学金免除制度があります。
 - 高度実践コース（クリティカルケア看護分野、がん看護分野）及び助産学実践コースについては、修業中は学業に専念できる者とします。
 - 一次募集の結果によって、二次募集を実施しない場合があります。
- ※社会人とは医療・保健・福祉施設、教育・研究機関、企業、官公庁等に勤務し、入学後もその職を有する者です。

公開講座情報

「運動器の健康・骨と関節の日」 奈良県「整形外科」市民公開講座

開催日時：令和3年10月10日(日) 14:00～16:00

方法：完全オンラインでの開催

テーマ：子供のスポーツとロコモ

概要：開会挨拶 奈良県立医科大学 整形外科学教授
田中 康仁 先生
講演 1 「こどもにおけるロコモと骨粗鬆症の現状
とスポーツ傷害」
奈良県立医科大学 整形外科学 藤井 宏真 先生
講演 2 「子どもの運動習慣とロコモ」
奈良教育大学 教育学部 保健体育講座
学校保健・スポーツ医学研究室教授 笠次 良爾 先生
閉会挨拶 つかもと整形外科 院長 墳本 敏彦 先生
問合せ先：奈良県立医科大学 整形外科学
TEL 0744-22-3051

肝がん撲滅市民公開講座

※前号 vol.76 で7月3日開催と案内しておりましたが、
開催方法が変更になりました

概要：肝臓についてスペシャリストによる最新情報など
開催方法：①KCN近鉄ケーブルテレビ『Web ゼミナール』
②Web 配信
放送期間：①KCN近鉄ケーブルテレビ 8/16(月)～8/29(日)
②Web 配信 8/23(月)より1か月間
※詳細は消化器内科学講座HPをご覧ください。
問合せ先：奈良県立医科大学 消化器内科学講座
TEL 0744-22-3051 (内線 3415)
URL <https://www.naramed-u.ac.jp/~3int/>
E-mail 3naika@naramed-u.ac.jp

The donation person name

寄附者ご芳名

「未来への飛躍基金」にご協力いただきありがとうございました

基金創設以来、令和3年6月末で累計 3363 件のご寄附をいただいております。

なお、今回は、令和3年4月～令和3年6月にお申し込みいただいた方のご芳名を掲載させていただきます。

【個人】

◆100万円以上

坂本 光章 様 原田 大亮 様

◆30万円以上100万円未満

小林 昌義 様 高倉 義典 様 田畑 尚一 様
田伏 守 様 中谷 晃 様 廣橋 里奈 様
三橋 二良 様 宮田 重樹 様 吉岡 章 様
渡邊 愛子 様 渡邊 巖 様

掲載を希望されないご寄附者様 5名

◆10万円以上30万円未満

岡 サチ子 様 酒井 宏水 様 坂本 一喜 様
浪崎 正 様 八田 一郎 様 松本 雅充 様
脇田満里子 様

掲載を希望されないご寄附者様 4名

◆10万円未満

石井 毅 様 植田 りな 様 矢野富士夫 様
山佐 義行 様

掲載を希望されないご寄附者様 12名

◆金額の公表を希望されないご寄附者様

瓦谷 英人 様 洲脇 直己 様 近山 達 様
中込 将弘 様 福住 明夫 様 松本 恒和 様

ご寄附のお申し込みをいただいた方のご芳名については、本学「未来への飛躍」基金HP (<https://www.naramed-u.ac.jp/~hiyakukikin/>) に掲載しております。



編集後記

皆様からご協力いただき第77号学報を発行することができました。ご協力・ご支援いただいたみなさまに深く感謝申し上げます。

学報では、教職員の皆様からの記事を随時募集しています。記事掲載を希望される方は秘書・広報室までご連絡ください。



Media Listing Information

新聞・雑誌・テレビ等マスコミの取材、テレビ出演、記事を掲載された教職員・学生を紹介します。

日付	媒体	対象者	掲載概要	
2021年	4月5日	HealthDay News	県民健康増進支援センター 特任准教授 富岡 公子	Harm Reduction Journal に公表した論文の紹介
	4月20日	奈良テレビ ゆうドキッ!	感染症センター センター長 笠原 敬	専門家に聞く 新型コロナ第4波 現状と対策
	4月21日	読売新聞	公衆衛生学 教 授 今村 知明	専門家に聞く 新型コロナ第4波 ワクチンと変異株
	4月22日	読売新聞	公衆衛生学 教 授 今村 知明	改正感染症法に基づく病床確保要請についてコメント
	4月22日	読売テレビ 情報ライブ ミヤネ屋	感染症センター センター長 笠原 敬	新型コロナの感染状況、変異株、今後の対策、ワクチン等についてコメント
	4月22日	毎日新聞出版 MMJ 2021 April (4月・5月号)	呼吸器内科学 教 授 室 繁郎	第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会リポート「COPD 治療の変遷(安定期)」をテーマに講演
	4月23日	奈良テレビ ならフライデー9	感染症センター センター長 笠原 敬	第4波の感染状況や変異株、病院の現状について
	4月23日	読売新聞	附属病院 病 院 長 吉川 公彦	コロナ病床「ギリギリ」医療の状況発信 県に求める
	5月1日	日本経済新聞	公衆衛生学 教 授 今村 知明	コロナ禍の救急搬送体制維持についてコメント
	5月11日	奈良新聞	消化器内科学 教 授 吉治 仁志	『ウイルス性肝炎 対談特集』高橋礼華選手(バドミントン リオデジャネイロ五輪金メダル)
	5月14日	ならリビング (中南和版)	消化器内科学 教 授 吉治 仁志	『ウイルス性肝炎 対談特集』高橋礼華選手(バドミントン リオデジャネイロ五輪金メダル)
			皮膚科学 教 授 浅田 秀夫	乾癬の症状と治療について
	5月17日	奈良新聞	消化器内科学 准 教 授 赤羽たけみ	『社員・職員の健康守ってー 生活習慣と肝臓病へのリスク ウイルス性肝炎啓発』(奈良トヨタ代表取締役社長・JA ならけん経営管理委員会会長との対談)
	5月20日	読売新聞	皮膚科学 教 授 浅田 秀夫	シニア世代の予防接種について
	5月26日	奈良テレビ ゆうドキッ!	感染症センター センター長 笠原 敬	附属病院のコロナ受入病棟の様子について
	5月30日	NHK 総合 NHK スペシャル	感染症センター センター長 笠原 敬	本学が感染対策に協力した東大寺修二会について
	5月31日	NHK 総合 ニュースシブ5時	免疫学 教 授 伊藤 利洋	柿渋に関する研究内容について紹介
	6月5日	毎日新聞	脳神経外科学 病 院 教 授 朴 永銖	乳幼児の急性硬膜下血腫についてコメント
	6月7日	日本経済新聞 (中国地方版)	免疫学 教 授 伊藤 利洋	カバヤ食品が柿渋入りの菓子を商品化 2月に柿渋のコロナ不活化を実証
	6月10日	NHK 総合 ニュースウオッチ9	看護部・医療情報部	附属病院の患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の取り組みを紹介
	6月11日	日刊工業新聞	微生物感染症学 教 授 矢野 寿一 免疫学 教 授 伊藤 利洋	旭化成と226 nm UVC LEDによるコロナ不活化効果を確認 動物細胞への影響についても検証
	6月12日	朝日新聞 (名古屋本社版)	脳神経外科学 病 院 教 授 朴 永銖	乳幼児揺さぶられ症候群 虐待争う裁判 相次ぐ無罪 各界で検証進む
	6月12日~7月31日 毎週土曜日	ラジオ大阪 そこが知りたい情報局!	感染症センター センター長 笠原 敬	新型コロナウイルスに関するリスナーの疑問にコメント
	6月17日	Medical Note	理事長・学長 細井 裕司	医学から始まるイノベーション「MBT」で産業創生、地域活性化を
	6月18日	NHK ラジオ第1 Nらじ	看護部・医療情報部	附属病院の患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の取り組みを紹介
	6月23日	NHK ラジオ第1 関西ラジオワイド	看護部・医療情報部	附属病院の患者状態適応型パスシステム(PCAPS)の取り組みを紹介
	6月24日	病院新聞	公衆衛生学 教 授 今村 知明	第8次医療計画の検討会での地域医療構想についてコメント
	7月8日	日本経済新聞	公衆衛生学 教 授 今村 知明	大阪府の酒類提供申請手続きについてコメント
	7月8日	奈良新聞	微生物感染症学 教 授 矢野 寿一 准 教 授 中野 竜一	やまと真空工業と共同開発の銅合金蒸着マスクで新型コロナの不活化を確認
	7月9日	NHK 奈良 ならナビ	感染症センター センター長 笠原 敬	奈良県内の感染対策指導の様子について
	7月9日	プレジデント社 PRESIDENT 2021年7.30号	疫学・予防医学 特任准教授 大林 賢史	太陽光の健康影響に関する記事において研究内容を紹介します
	7月11日	NHKE テレ サイエンス ZERO	精神医学 准 教 授 牧之段 学	“子どもの脳”を守れ 脳科学が子育てを変える
	7月13日	日本経済新聞 Web (会員のみ閲覧可)	微生物感染症学 教 授 矢野 寿一 准 教 授 中野 竜一	やまと真空工業と共同開発の銅合金蒸着マスクで新型コロナの不活化を確認
	7月27日	NHK 総合 関西のニュース・気象情報	感染症センター センター長 笠原 敬	東京オリンピック2020に関するインタビュー

メディア掲載情報をお寄せください

秘書・広報室(総務課) 内線: 2206